

# MySsr

Mysql School Student System for Report

構築・運用・活用

マニュアル

県立宮崎東高等学校  
武石秀男

2010年1月25日 初版



## 「S」の継承者達への感謝と

# 「M」を継ぐ者へ

(何よりも、「明日は他人」の自分へ.....)

通信制高校における「学校の生徒管理システム」、

「**S s s r**」は「School Student System for Report」の略称で、愛称「トリエス」です。

続トリエスは「データベース MySQL」をベースにした「**M**y S Q L **S s s r**」で、

略称「**MySssr**」、愛称「マイトリエス」です。

この書では新旧のシステムを区別するために旧を「**S**」、新を「**M**」と表記します。

「システムの守り人」はユーザの狭間で暗躍しています。システム「S」が運用されて来たこの12年間の労はを大変なものであったと思います。「S」の「守り人達」に感謝を申し上げます。

この十数年でシステムのインフラも「インターネット」へと大きく変化し、「S」の継承が難しい時代になっています。そこで、システム「S」の全てを「M」に託すことにしました。

これからシステム「M」を継ぐ者へ、「システムの<sup>まこと</sup>真の名」を知るための「ことば」2つを書き記しておきます。

### 「手作りシステム」のすすめ

「手作りシステムのススメ」、これが「技術継承の危機」を打破するキーワードです。

ヒトは「知を愛する」という「哲学心」を生まれ持っています。「中身が見えて中身が分かる」ものは純なる素朴心に快感を与えるし、「何でそうなるの?」といった童心を満足させてくれます。

手作り「システム」にも、かつての大人達が「ゼンマイ時計」や「真空管ラジオ」制作に打ち興じていた頃の純なる感動があります。これらの「純なる感動」こそが、高度ブラックボックス化・グローバル化社会の今、未来永劫続くであろう「技術継承」の原動力となるのではないかと考えます。

### 「哲学するしくみ」をつくる

「哲学する」とは、「知ることを楽しむ」と、自分なりに定義しています。

おもしろきなき **システム** を面白く。

それは、自分の中に、そして **システム** の中に、「哲学するしくみ」をもつことです。

# 目次

|         |  |    |
|---------|--|----|
| 1       | はじめに.....                                      | 1  |
| 1-1     | 「ホンモノ」への道.....                                 | 1  |
| 1-1-1   | あえて系統をたどる.....                                 | 1  |
| 1-1-1-1 | 村の鍛冶屋になって.....                                 | 1  |
| 1-1-1-2 | 「 <sup>まこと</sup> 真 <sup>な</sup> の名」は古典の中に..... | 1  |
| 1-2     | 古典にみる「基礎基本」.....                               | 2  |
| 1-2-1   | はじめに「プログラム」ありき.....                            | 2  |
| 1-2-1-1 | データ形式.....                                     | 2  |
| 1-2-1-2 | データ処理.....                                     | 2  |
| 1-2-2   | はじめに「データ」ありき.....                              | 2  |
| 1-2-2-1 | オブジェクト指向.....                                  | 2  |
| 1-2-2-2 | データベース.....                                    | 2  |
| 1-2-3   | 身近にあるデータ管理ソフト.....                             | 3  |
| 1-3     | 「しくみ」ありて.....                                  | 4  |
| 1-3-1   | しくみを自分で創る.....                                 | 4  |
| 1-3-2   | しくみ「RAD」の活用.....                               | 4  |
| 2       | トリエス史.....                                     | 5  |
| 2-1     | 先トリエス紀.....                                    | 5  |
| 2-2     | トリエス紀.....                                     | 6  |
| 2-2-1   | システム概要.....                                    | 6  |
| 2-2-2   | システム方式.....                                    | 6  |
| 2-3     | 新トリエス紀.....                                    | 7  |
| 2-3-1   | ハイブリッド型システム.....                               | 7  |
| 2-3-2   | システム概要.....                                    | 7  |
| 2-4     | 「トリエス計画」のあゆみ.....                              | 8  |
| 2-4-1   | プロジェクト97(平成9年度).....                           | 8  |
| 2-4-1-1 | 通信制課程 教育事務のOA化について(1).....                     | 8  |
| 2-4-1-2 | LAN構成図.....                                    | 8  |
| 2-4-2   | プロジェクト98(平成10年度).....                          | 9  |
| 2-4-2-1 | 通信制課程 教育事務のOA化について(2).....                     | 9  |
| 2-4-2-2 | LAN構成図.....                                    | 9  |
| 2-4-3   | プロジェクト99(平成11年度).....                          | 10 |
| 2-4-3-1 | 通信制課程の成績処理・管理のOA化について(3).....                  | 10 |
| 2-4-3-2 | LAN構成図.....                                    | 11 |
| 2-4-4   | プロジェクト・ミレニアム(平成12年度).....                      | 12 |
| 2-4-4-1 | 通信制課程の成績処理・管理のOA化について(4).....                  | 12 |

|  |    |
|--|----|
| 2-4-4-2 LAN構成図 .....                   | 13 |
| 2-4-5 プロジェクト・M1(平成13年度) .....          | 14 |
| 2-4-5-1 通信制課程の成績処理・管理のOA化について(5) ..... | 14 |
| 2-4-5-2 LAN構成図 .....                   | 15 |
| 2-4-6 プロジェクト・M8(平成20年度) .....          | 16 |
| 2-4-6-1 開発トリエス .....                   | 16 |
| 2-4-6-2 LAN構成図 .....                   | 17 |

### 3 構築 .....19

|  |    |
|--|----|
| 3-1 概要 .....                               | 19 |
| 3-1-1 構築のための準備 .....                       | 19 |
| 3-2 環境の構築 .....                            | 20 |
| 3-2-1 「Java」の設定 .....                      | 20 |
| 3-2-2 開発統合環境「Eclipse」の設定 .....             | 21 |
| 3-2-3 サーバサイドJavaを動かすための環境「Tomcat」の設定 ..... | 21 |
| 3-2-4 データベースサーバ「MySql」環境の設定 .....          | 22 |
| 3-2-5 連携のための「ODBC」設定 .....                 | 22 |
| 3-2-5-1 「Excel」との連携 .....                  | 23 |
| 3-2-5-2 「桐9」との連携 .....                     | 23 |
| 3-3 データベースの構築 .....                        | 24 |
| 3-3-1 設計の基本 .....                          | 24 |
| 3-3-2 基本データのテーブル一覧 .....                   | 25 |
| 3-3-3 基本テーブルの項目 .....                      | 26 |

### 4 活用 .....38

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 4-1 校内LAN「C言語」版 .....     | 38 |
| 4-1-1 基本操作 .....          | 38 |
| 4-1-1-1 起動アイコンの作成 .....   | 38 |
| 4-1-1-2 ログイン .....        | 38 |
| 4-1-1-3 時計合わせ .....       | 39 |
| 4-1-1-4 入力画面の表示 .....     | 39 |
| 4-1-1-5 データの保存 .....      | 39 |
| 4-1-1-6 トリエスの終わり方 .....   | 39 |
| 4-1-2 レポート .....          | 40 |
| 4-1-2-1 選択と絞り込み .....     | 40 |
| 4-1-2-2 レポート評価の入力 .....   | 42 |
| 4-1-2-3 レポート受付日の入力 .....  | 42 |
| 4-1-2-4 考査などの成績入力 .....   | 42 |
| 4-1-2-5 データの変更と削除 .....   | 43 |
| 4-1-2-6 評点・評定の計算 .....    | 44 |
| 4-1-2-7 レポート環境の補助機能 ..... | 45 |
| 4-1-2-8 成績不振者の絞り込み .....  | 45 |
| 4-1-3 《スクリーニング》 .....     | 47 |
| 4-1-3-1 面接時数の入力 .....     | 47 |
| 4-1-4 《放送視聴》 .....        | 48 |

|          |                                     |           |
|----------|-------------------------------------|-----------|
| 4-1-4-1  | 放送視聴時数の入力                           | 48        |
| 4-1-4-2  | NHK高校講座の視聴                          | 48        |
| 4-1-5    | 《 受講指導 》                            | 49        |
| 4-1-6    | 《 単位一覧 》                            | 50        |
| 4-1-7    | 《 学習記録 》                            | 50        |
| 4-1-7-1  | 学習成績記録の印刷                           | 50        |
| 4-1-7-2  | 受講指導一覧表の印刷                          | 51        |
| 4-1-7-3  | 「個人面接計画表」の印刷                        | 51        |
| 4-1-8    | 《 レポ受付 》                            | 52        |
| 4-1-8-1  | レポート受付                              | 52        |
| 4-1-8-2  | 受付エラーレポートの処理                        | 52        |
| 4-1-9    | 《 環境設定 》                            | 53        |
| 4-1-9-1  | トリエスの環境設定                           | 53        |
| 4-1-9-2  | 環境色の設定                              | 54        |
| 4-1-10   | <b>データベースへの併合</b>                   | <b>55</b> |
| 4-1-10-1 | 学習記録データのTXT書き出し                     | 55        |
| 4-1-10-2 | 受験資格科目のTXT書き出し                      | 55        |
| 4-1-10-3 | 現選択生徒のTXT書き出し                       | 55        |
| 4-2      | <b>校内LAN「Excel」版</b>                | <b>56</b> |
| 4-2-1    | 構築・管理                               | 56        |
| 4-2-1-1  | テーブルの構築                             | 56        |
| 4-2-1-2  | 基礎データの併合                            | 56        |
| 4-2-2    | 運用                                  | 56        |
| 4-2-2-1  | 準備                                  | 56        |
| 4-2-2-2  | 起動                                  | 56        |
| 4-3      | <b>インターネット「Java」版</b>               | <b>57</b> |
| 4-3-1    | Webブラウザの起動                          | 57        |
| 4-4      | <b>インターネット「PHP」版</b>                | <b>58</b> |
| 4-4-1    | Webブラウザの起動                          | 58        |
| 5        | <b>運用</b>                           | <b>59</b> |
| 5-1      | 受講経費の手続き                            | 59        |
| 5-1-1    | 転編入                                 | 59        |
| 5-1-2    | 科目履修・併修                             | 60        |
| 6        | <b>(単位制・通信制) 県立宮崎東校等学校のコンピュータ業務</b> | <b>61</b> |
| 6-1      | 基本業務                                | 61        |
| 6-1-1    | 基礎データの照会                            | 61        |
| 6-2      | 入力                                  | 61        |
| 6-2-1    | レポートの受付                             | 61        |
| 6-2-2    | 成績評価・活動の記録                          | 61        |
| 6-2-3    | 受講科目の記録                             | 61        |
| 6-3      | 出力                                  | 61        |

|     |                          |    |
|-----|--------------------------|----|
| 6-4 | 統合環境「S s s r」の提供業務 ..... | 61 |
| (1) | 基本業務の提供.....             | 61 |
| (2) | 受講手続き情報提供 .....          | 61 |
| (3) | 掲示板の提供 .....             | 61 |
| (4) | 生徒情報の詳細提供 .....          | 61 |
| (5) | 携帯サイトでの学業照会 .....        | 61 |





# 1 はじめに

## 1-1 「ホンモノ」への道

何ごととも「個体発生は系統発生を繰り返す」です。

我々はおなかの中で 30 数億年の進化の過程を経て、人として生まれてきます。またそれが「ホンモノになるためのしくみ」だと考えます。手抜きするとホンモノになれません。不自由さ・不便さを一つ一つ楽しみながらホンモノへと成長していくのです。

全世界的な効率主義と標準化が今まで創り上げてきた多くの「系統発生のしくみ」を壊し、ダメにしています。だんだんとお手本が消えていく現代はスムーズな個体発生の難しい時代でもあります。

「情報」が海から陸に上がって半世紀ほどしか経っていませんが、地球の歴史 46 億年にも劣らない進化内容だと思います。「系統発生のしくみ」がグローバル化の荒波で消え去る前に、一人一人が「系統発生」を辿る、これはホンモノの情報スキルを身につける最良の方法であり、「スキルアップのしくみ」を学ぶ機会でもあります。とにかくもこれが私の推奨する情報スキルアップの「自律訓練法」です。

### 1-1-1 あえて系統をたどる

まだ、コンピュータの処理能力が低く記憶容量も小さかった頃に「どうやって短時間で統計処理が済ませられるか」この難問を解決するために必死になってプログラムと睨めっこしたものです。

何せ、限られたプログラムステップ数の中、しかも、30 メモリーしかないのに 1 クラス 40 人の成績順位をどうやって付けるか、超遅き外付けメモリーで 1 学年 320 人の順位を 1 晩で付けられるのか等々、スペック貧しき中でのやりくりは豊かな今からすると想像を絶するものでした。

でも、不便さ・貧困さの時期にこそ生涯最高のスキルアップがなされたのだと思います。飽食の時代にあっても「古きを体験する」中にこそ「スキルアップのしくみ」が見つけれられるものと信じています。

#### 1-1-1-1 村の鍛冶屋になって

今の価値観の中心は「効率」です。「標準化」「グローバル化」がその方法論として社会構造を大きく変えてきました。その結果多くのスキルが失われてきています。

江戸時代の村の鍛冶屋よろしく一人一人が一つ一つの部品を手作りしながら、そして楽しみながら、全体の「しくみ」「からくり」を自分のものとしていきます。一人一人の工夫により多様化が計られ、結果として歴史の激変にも折れない骨太のスキルが創り上げられるのだと思います。

成績処理に関するスキルアップの極意も、アンチグローバル化です。一人一人が計算式などの便利なしくみ使わないで、工夫しながらスキルの自分のものとしていきます。

何ごととも「急がば回れ」です。グローバル化・標準化ではなく、ローカル化・多様化にのちこそ、人は「生きる意味・真の喜び」を見出すのだと思います。

#### 1-1-1-2 「<sup>まこと</sup>真<sup>な</sup>の名」は古典の中に

「古典」は国語に始まるいろんなジャンルに顔を出します。堅苦しい響きを持ち、無意味とも思える代物。ところが最近、その「古典」が気になり出す。大事に思える。これは、むかし言葉が妙に深淵に感じられる年になったということもありますが、それよりも何よりも、全ての物ごとの「真の名」が「古典」の中に隠されていると気づいたからです。

「真の名」を知れば何でもできるようになる。といいます。(宮崎駿のアニメを見れば分かります。) それゆえに、ホンモノになるため、「成績処理」の「真の名」を知るためにも、「古典」を紐解くことが大事な勉強の 1 つなのです。

情報に関する身近な「古典の写し」といえば「情報処理試験の解説書」です。今東西のあらゆる歴史が濃縮されています。検定試験を受けるために、もしくは受けるつもりでこれらの書物を必ず一度は紐解いてみましょう。

## 1-2 古典にみる「基礎基本」

### 1-2-1 はじめに「プログラム」ありき

情報処理のはじめは、主役がプログラムで、プログラムが「しくみ」を創っていました。データはその中で操作（作成・更新・削除など）されます。この時代のスキルも大切な要素です。

#### 1-2-1-1 データ形式

- テキスト形式（シーケンシャル・ファイル、CSV）
- バイナリ形式（ランダム・アクセス・ファイル）

#### 1-2-1-2 データ処理

- 構造化プログラミング  
「GOTO 文」の永久追放  
(IF THEN ) (FOR NEXT) (WHILE WEND) (DO LOOP) ……………
- 抽出と並べ替え（9つのソート）
- 合計・平均・最高・最低・順位付け・偏差値

### 1-2-2 はじめに「データ」ありき

今は「情報」が最も価値あるモノとされる時代です。経済的な情報戦略とともに、主役が「プログラム」から「データ」へと、パラダイムシフトしました。

#### 1-2-2-1 オブジェクト指向

データは「オブジェクト」と呼ばれ、それ自体が「しくみ」を持っています。しくみは、属性（プロパティ）手続き（メソッド）割り込み（イベント）などを有します。

プログラムではオブジェクトを「クラス」として定義しますが、プログラミングの手法も「関数呼び出し」から「オブジェクト間通信」という概念へ移行しました。

#### 1-2-2-2 データベース

かつて、コンピュータ言語の古典となろうとしている「COBOL」「FORTRAN」は手続きがやけに回りくどく感ぜられ、その厳格さに嫌気がさしてどうしても好きになれなかった経験があります。ところが、情報の中心となっている「データベース」を学んでみると、それら厳格さの必然的な意味がわかってきます。

今の時代は SIS「Strategic Information System(戦略情報システム)」に象徴されるように情報が産業の中心にあり、データが世界を動かしているといっても過言ではありません。それゆえに、データという「オブジェクト」は、それ自体を独立させ、論理性・信頼性・機密性・保守性を十分考慮したうえで、限りなく完全体に近いものとしなくてはなりません。そのしくみを提供してくれるのが「データベース」なのです。

データベースのモデルは、関係データベース・階層型データベース・網型データベースなどいくつかありますが、現時点では理論の簡単明瞭な「関係データベース」がほとんどです。

「関係データベース」は「リレーショナルデータベース」とも呼ばれ、以下のデータベース管理システム (DBMS) がサポートしています。

オラクル(Oracle Database)、Microsoft SQL Server、MySQL、PostgreSQL

SQL (Structured Query Language)

### 1-2-3 身近にあるデータ管理ソフト

学校事務の「標準化」「効率化」「グローバル化」がどの段階まで必要なのか、スキル継承のしくみをどうして構築するのか、考えなくてはならない問題が多々あります。

データを管理するソフトはいろんな経緯もあってか各学校バラバラようです。でも、軟弱な理由からか「MSオフィス」へと移行している学校が多いようです。

結局の所、エクセルはデータ操作の要ともいえるでしょう。成績処理に限らずマクロVBAを使う機会も多くなるでしょうから、マクロを自分のものとしておきましょう。

#### ① エクセル

- Windows (OS) とセットの「Office」で提供されている。
- 敷居が低く、気軽に導入できる。
- 計算式などが充実している。
- マクロ (VBA) で多彩な処理ができる。
- データベースとしてのしくみが乏しい。  
(貧弱な部分はマクロで補う)

#### ② アクセス

- 敷居が比較的に高い
- データベースとしてのしくみが用意されている。
- WindowOS セットの高価バージョンが必要である。

#### ③ 柵(管理工学研究所: 日本製データベース)

- 日本人好みに設計されている。(罫線の太さなど、きめ細かな設定が可能)
- 表の「一覧表」「レポート (印刷) などに多彩なしくみが用意されている。
- 一括処理 (マクロ) で多彩な処理ができる。
- データベースとしてのしくみがそれなりに用意されている。
- システム価格が高い。

## 1-3 「しくみ」ありて

高度情報社会の世になって、学校現場でも高度な情報処理が要求されるようになりました。より高度なことをより効率的にやろうとすれば「しくみ」が必要となります。

コンピュータ言語と言われるものも機械語（16進数）をわかりやすく表現するために創り出された「しくみ」なのです。

今までにいろんな言語が誕生しましたが「アセンブラ」（ニーモニック・マクロ）「COBOL」「BASIC」「FORTRAN」「C」などが今なお健在です。「JavaScript」「Java」「PHP」などは「C」がインターネット環境で進化したもので言語体系は同じです。

「BASIC」（≒VBAのマクロ）は長い歴史もあり、いろんなシステムに組み込まれている言語なので「しくみ」としては必須といえましょう。

ICT急進化の今は、しくみも大がかりに、そしてより複雑に階層的になってきています。出来合いの「しくみ」に満足できない人は、「オリジナルなしくみ」を、そうでない人は「出来合いのしくみ」を大いに活用してみましょ。今は、フリーで完成度の高いしくみが数多く出回っています。

OSが「MS-DOS」の時代には提供される「しくみ」が貧弱でしたが、「Windows」になってからは豊富になりました。その豊富さには嫌気がさすほどで、我々の出番を残す意味でも「しくみ」は「腹六分目～八分目」程度にしてもらいたいものです。

### 1-3-1 しくみを自分で創る

今どき「しくみ」のないものはありません。

結局、しくみの中で「しくみ」を創ることになります。さらに、その中に「しくみ」を、と階層的に創っていきます。「しくみ」を創り始めると「情報観」が変わっていきます。

- 高いスキルを必要とする。
- 思いどおりのシステムが構築できる。

### 1-3-2 しくみ「RAD」の活用

Rapid Application Development

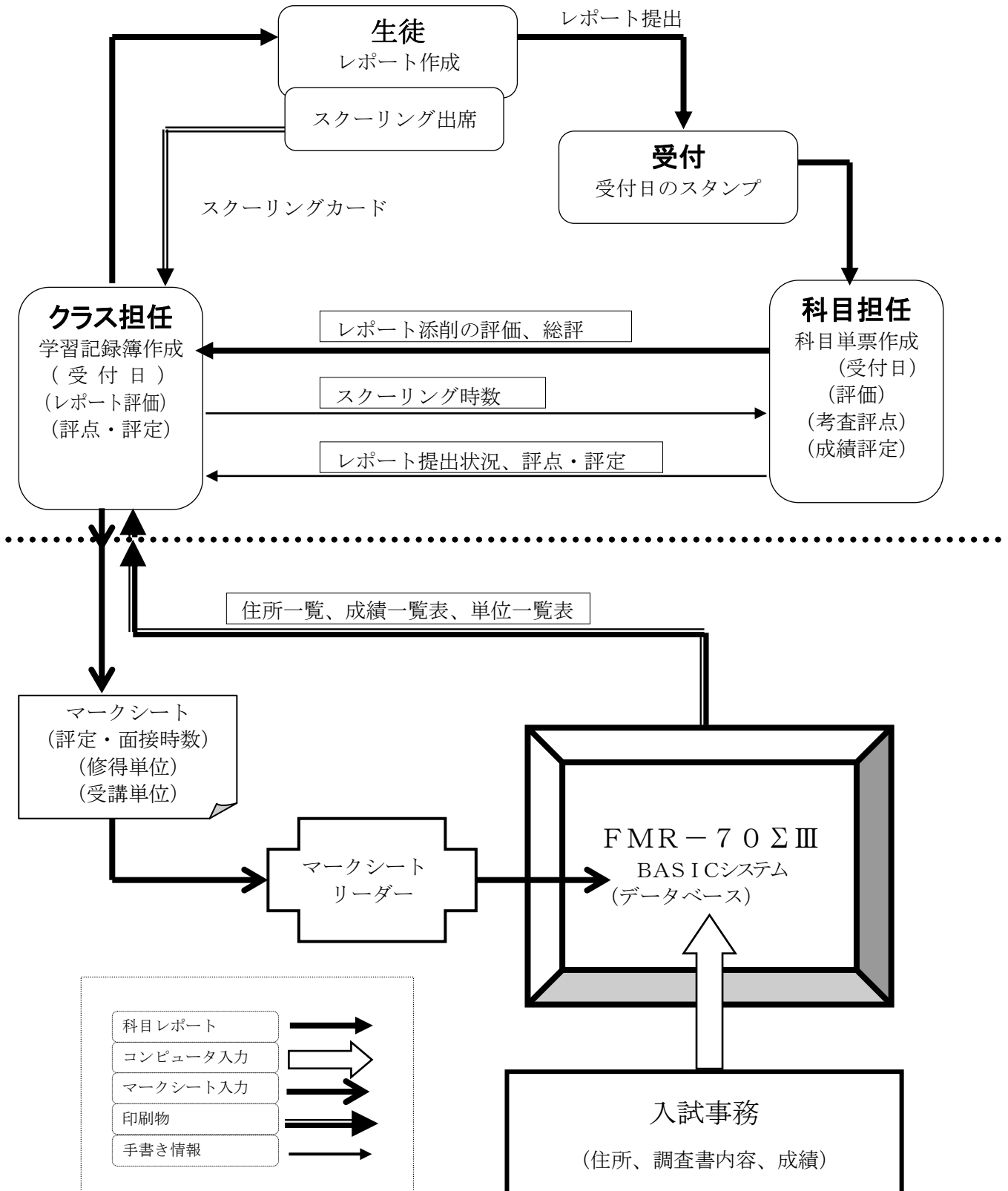
（すばやく 実務処理プログラム 開発）

- あまりスキルを必要としない。
- それなりに費用がかかる  
今ではフリーソフトが充実しています。

## 2 トリエス史

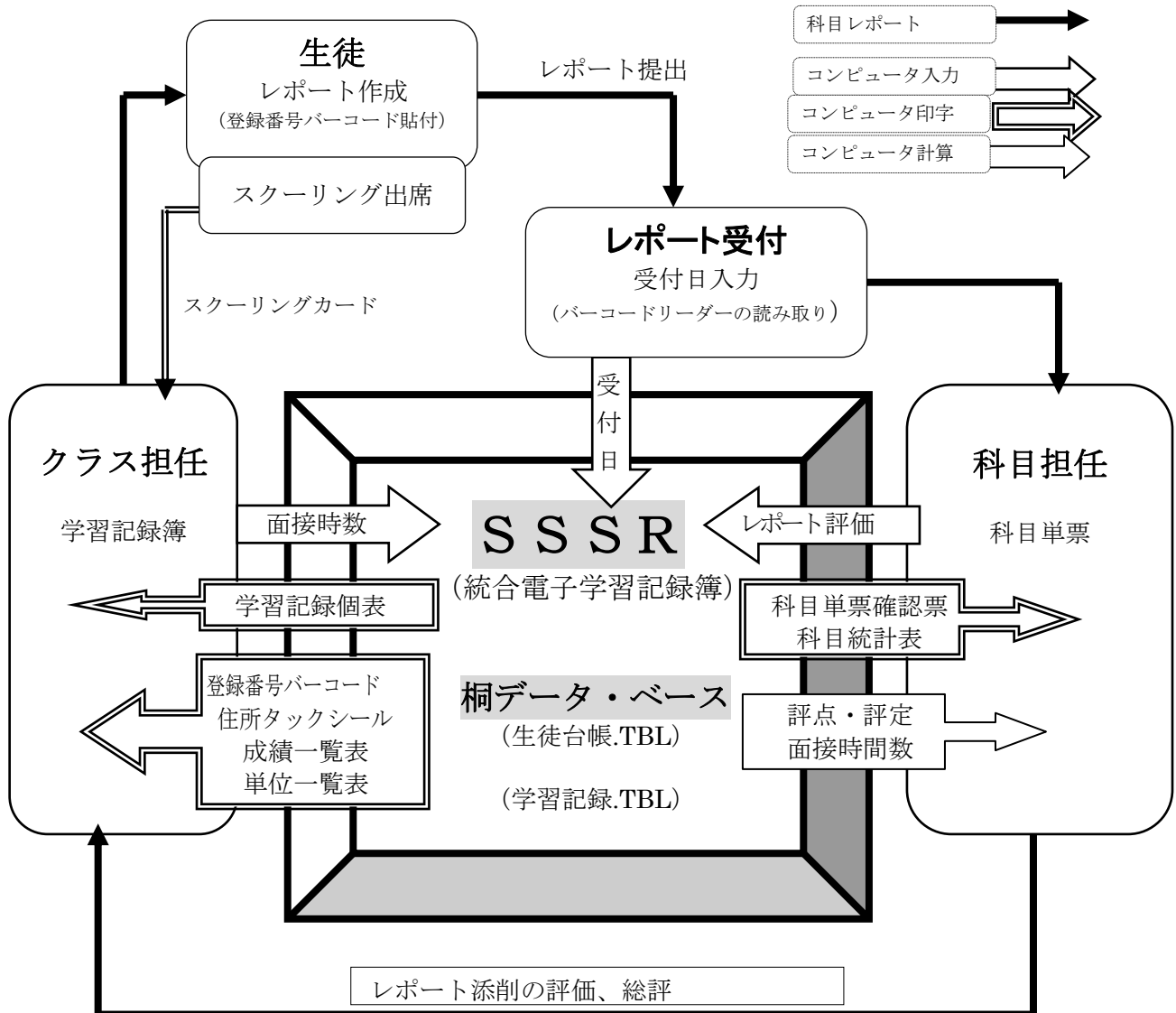
### 2-1 先トリエス紀

平成9年度（1997年度）以前のシステム



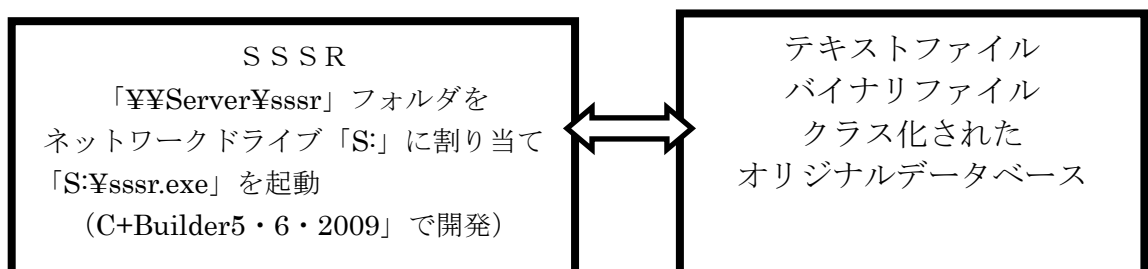
## 2-2 トリエス紀

### 2-2-1 システム概要



### 2-2-2 システム方式

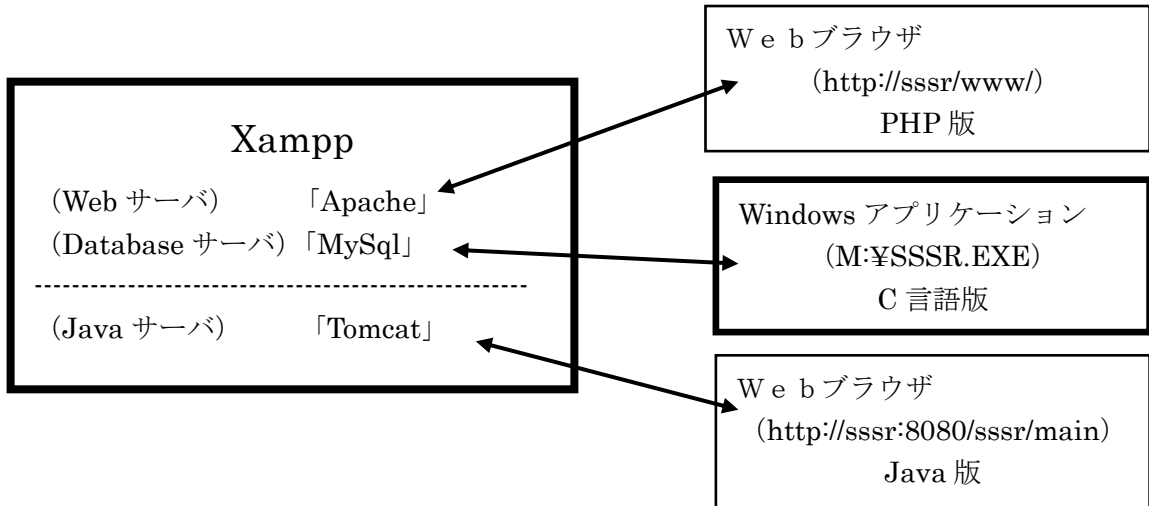
- ① 校内LAN
- ② 開発言語「C言語」
- ③ データ形式
  - データベース「桐」で基本データテーブルを作成し、テキスト書き出しする。
  - 参照データは、トリエスで直接テキスト読み込みする。
  - 更新データは、クラス化されたバイナリファイルとして読み書きする。



## 2-3 新トリエス紀

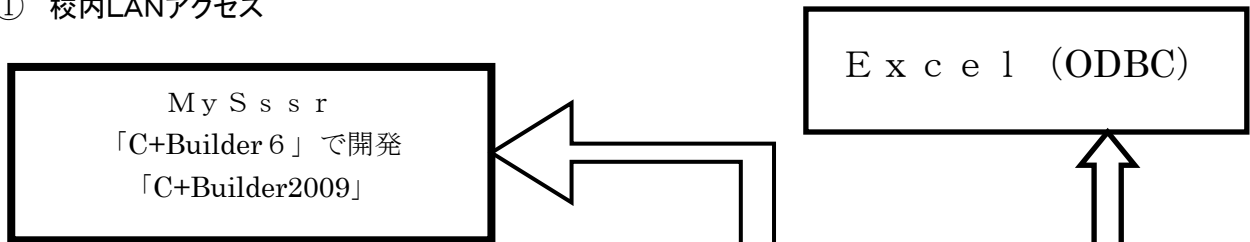
### 2-3-1 ハイブリッド型システム

「MySQL」をデータベースとして、「Java」や「PHP」でインターネット上のウェブブラウザから操作する。ただし、従来の「校内LAN」SSSRからもアクセス可能としている。

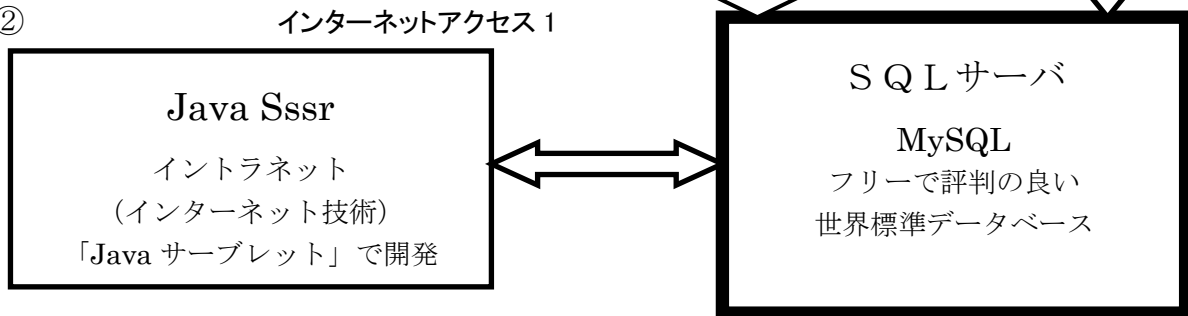


### 2-3-2 システム概要

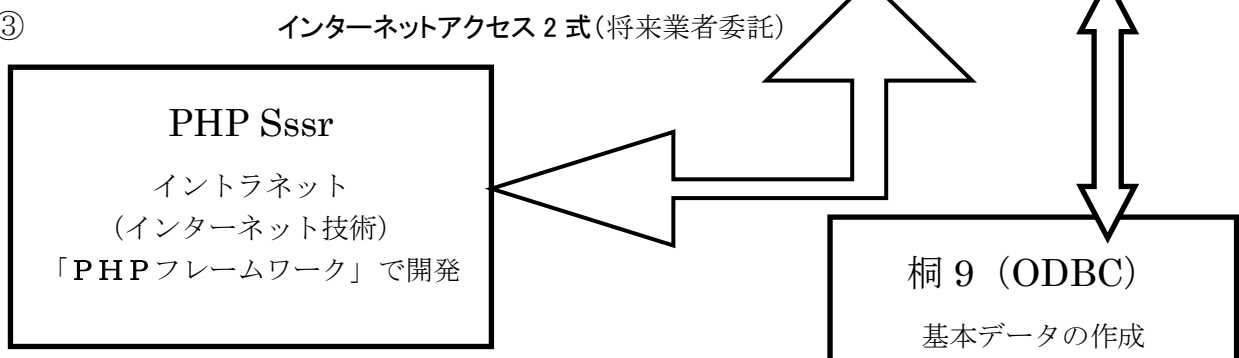
#### ① 校内LANアクセス



#### ② インターネットアクセス 1



#### ③ インターネットアクセス 2 式 (将来業者委託)



## 2-4 「トリエス計画」のあゆみ

### 2-4-1 プロジェクト97(平成9年度)

#### 2-4-1-1 通信制課程 教育事務のOA化について (1)

平成9年9月2日 通信制の課程 教務部 武石秀男(文責)

##### (1) 目的

本課程教育事務の中で通信レポートの提出日および成績の記録は毎日の煩雑な業務の1つである。

特に単位認定に関わるレポート提出の有無を調査・把握するためには科目担任32人一人一人に確認して回らなくてはならず、学級担任は大変な労力を要している。科目担任も煩雑な添削の中で26クラスの学級担任に逐次、レポート提出状況を報告することは大変な負担にもなっている。

これらの煩雑な業務から解放されるためには、教職員各自が任意のコンピュータから必要な情報を逐次、照会・参照・変更できればよい。そのためにも、コンピュータを使った生徒成績記録データの一元管理が必要となってくる。一元管理化の結果として、学級担任の成績記録簿再記入や、成績一覧表作成時の再入力など、数多くの業務の軽減を図ることも可能となる。

##### (2) 概要

教育事務のレポート管理および成績管理のデータベース化。

###### ① バーコード読み取りによるレポート提出日時の記録。

レポート表紙にバーコードを以下の方法で記録。

- 「科目名」「レポート回数」はレポートに直接印刷する。
- 生徒認識のための「登録番号」は生徒自身が提出時にタックシールで貼る。

###### ② 成績入力および成績統計などの成績管理

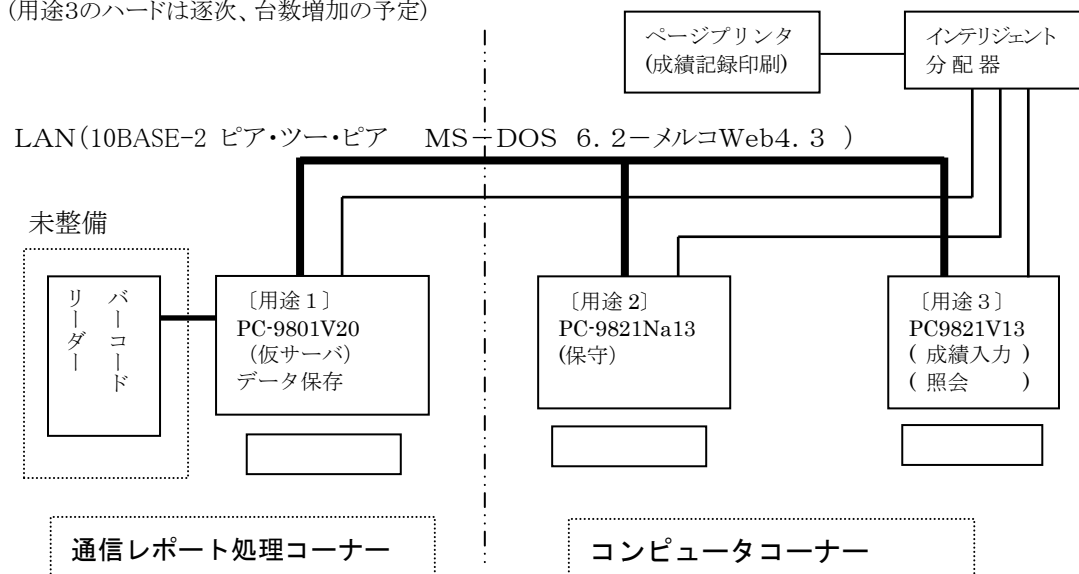
当座は限られた教科(理科)で実施。LANが拡張され次第、全教科へと拡大。

##### (3) 方針

- 当座は、操作環境として、MS-DOSを用いる。
- LANにより、複数のコンピュータでの同時処理を可能とする。
- データベースの構築には以下のソフトを使用する。  
自作ソフト(C言語で作成)と市販ソフト(桐)

#### 2-4-1-2 LAN構成図

(用途3のハードは逐次、台数増加の予定)





## 2-4-2 プロジェクト98(平成10年度)

### 2-4-2-1 通信制課程 教育事務のOA化について (2)

平成10年12月10日 通信制の課程 教務部 武石秀男(文責)

#### (1) 目的

前年に同じ

#### (2) 概要

教育事務のレポート管理および成績管理のデータベース化.

##### ① バーコード読み取りによるレポート提出日時の記録。

前年に同じ

##### ② 成績入力および成績統計などの成績管理

レポート評価は各科目担任が各自入力。

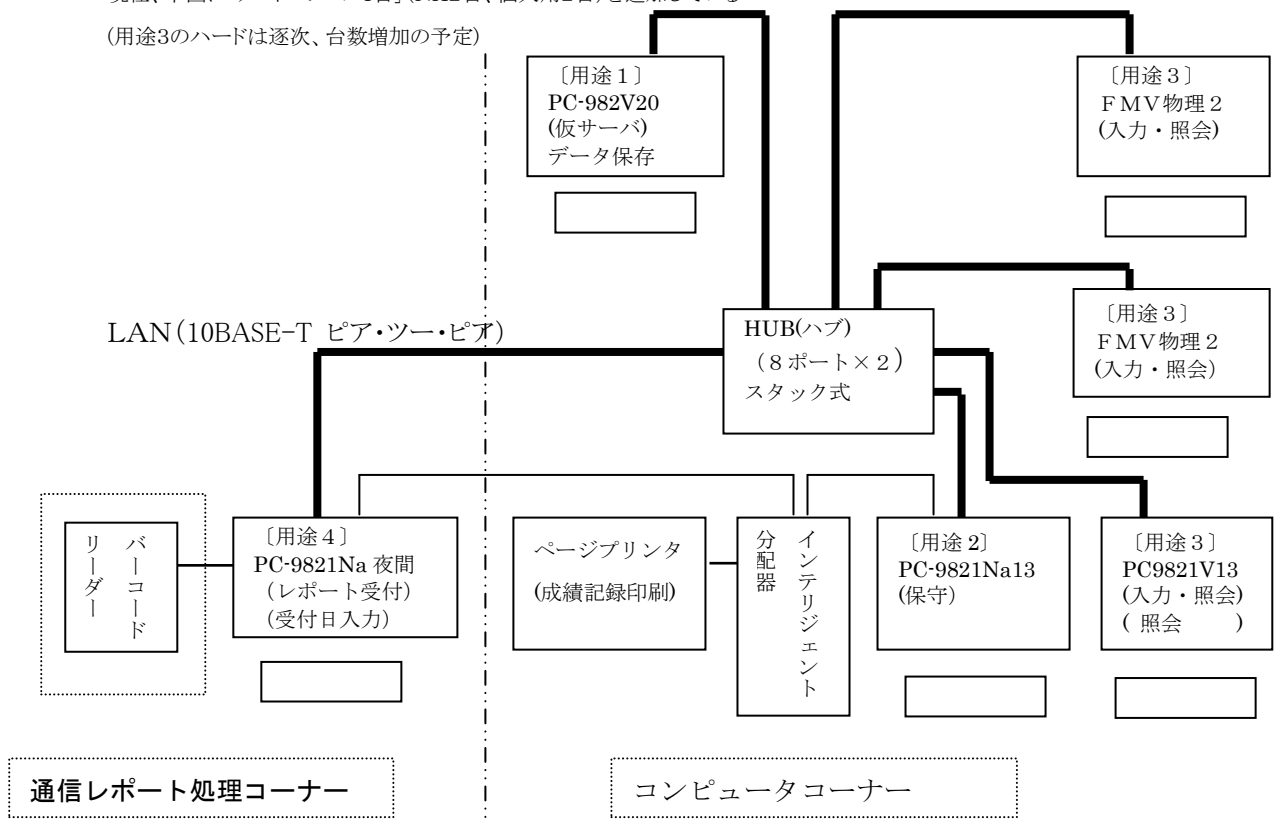
##### ③ 方針

- LANにより、複数のコンピュータでの同時処理を可能とする。
- 操作環境として、WINDOWSを用いる。  
95 → 98 (→ NT )
- データベースの構築には以下のソフトを使用する。  
自作ソフト(C言語で作成)と市販ソフト(桐)  
ボーランド社の「CBuilder3」と「桐」Version7

### 2-4-2-2 LAN構成図

現在、下図に「ノートパソコン4台」(NX2台、個人用2台)を追加している

(用途3のハードは逐次、台数増加の予定)



## 2-4-3 プロジェクト99(平成11年度)

### 2-4-3-1 通信制課程の成績処理・管理のOA化について(3)

平成11年8月27日 OA委員会 通信制課程担当 武石秀男(文責)

#### (1) 目的

前年に同じ

#### (2) 概要

教育情報のデータベース化.

(住所・前籍校記録などの生徒情報、成績評価、スクーリング記録などの生徒活動記録)

- ① バーコード読み取りによるレポート提出受付日の記録.  
レポート表紙にバーコードを以下の方法で記録.
  - ・ レポート作成時に「科目名」と「レポート回数」をバーコード化したものを表紙部に印刷。
  - ・ 生徒「登録番号」をバーコード化したものタックシールに印刷し、生徒に配布する。  
(生徒がレポート提出時にレポート表紙に貼る)
- ② 科目成績評価の記録  
科目担任が評価を入力(クラス担任は確認、照会のみ)。
- ③ クラス担任が各スクーリング後に面接時数を入力。

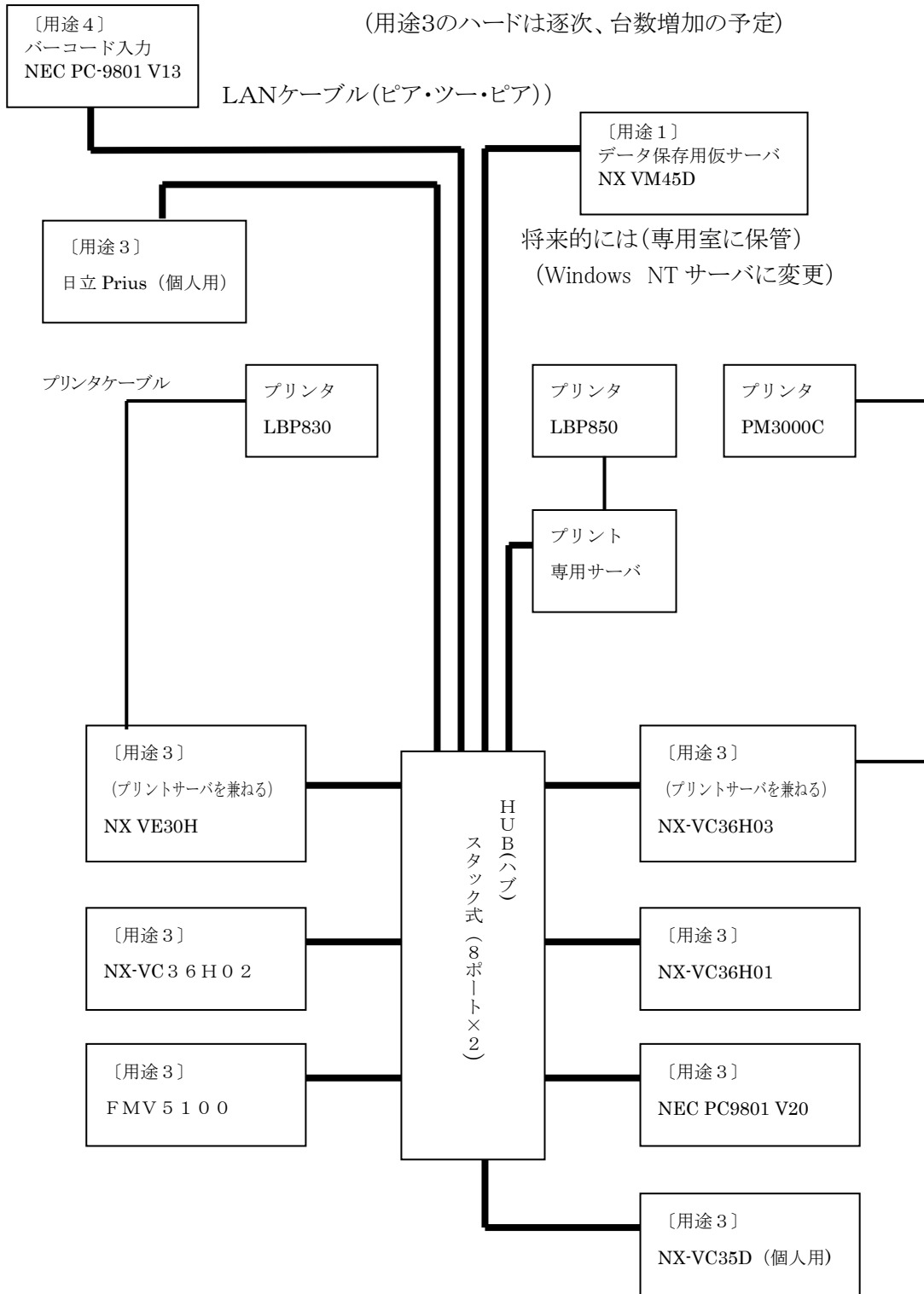
#### (3) 方針

- ① LAN(Local Area Network)により、複数のコンピュータでの同時処理を可能とする。
- ② 操作環境として、OS(Operating System)に Windows98 を用いる。  
Windows98 から Windows NT へ移行の予定(データベースの機密性・安全性向上のため)。
- ③ データベースの構築には以下のソフトを使用する。  
自作ソフト(C言語で作成)と市販ソフト(桐)。  
現在は、ボーランド社製の「CBuilder3」を「主」、桐 Version7.2 を「従」としているが、  
将来は、桐のようなデータベースソフトを「主」としていく方針。

#### (4) 展望

- ・ 「職員間メール」により「共通配布物」を最小限にする。
- ・ インターネットの活用により、「学校紹介」のウェブページ(ホームページ)開設。  
(生徒個人の成績照会ページあり)

2-4-3-2 LAN構成図



## 2-4-4 プロジェクト・ミレニアム(平成12年度)

### 2-4-4-1 通信制課程の成績処理・管理のOA化について(4)

(1) 目的・概要・方針

前年度に同じ。

(2) システム変更

① OS

Windows 98 から Windows NT 4.0 に変更。

データの安全性やセキュリティが強化されたが、管理に高度なスキルが必要となった。

② 開発ソフト

ボーランド社製の「Cbuilder 3」から「Cbuilder 5」へとバージョンアップ。

桐を「バージョン7.2」から「バージョン8」へバージョンアップ。

安定性は以前より増したようだが、立ち上がりなど遅くなり、非常に重くなった。

③ サーバ室の正式設置

職員室にむき出しになっていたサーバ機を「資料庫」に設置。

13年度から「情報システム」部として校務分掌化されたために、12年度末から13年度にかけて、資料庫を改装して正式なサーバ室にする。また、4人の部員が担当するために、新たに3台の開発用マシンを設置する。

④ 無線LAN設置

通信制職員室の天井に、3つの発光器(東側・中央・西側)を、また机の島ごとに10個の受光器を設置する。

LANケーブルの引き回しは楽になったが、100BASEから10BASE-Tへとシフトダウンしたために全体的に重たくなった。

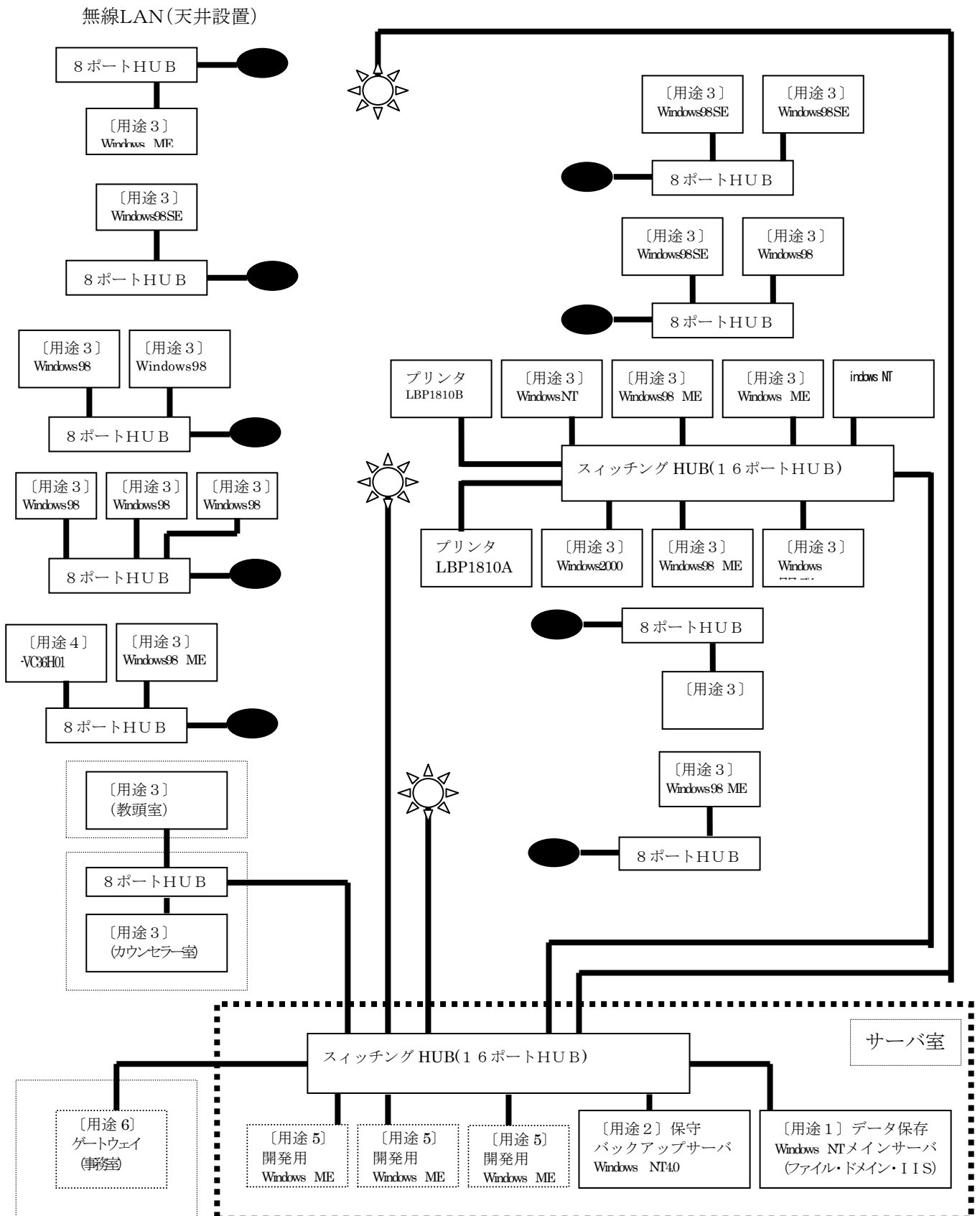
⑤ インターネット接続

通信制ドメインから事務室ゲートウェイを通じてインターネットへ接続可能となる。

「教育ネットひむか」に本校Webページをアップロードする。

今後は、インターネット関係のヘビーな業務が急増すると思われる。

2-4-4-2 LAN構成図



## 2-4-5 プロジェクト・M1(平成13年度)

### 2-4-5-1 通信制課程の成績処理・管理のOA化について(5)

#### (1) 目的・概要・方針

前年度に同じ。

#### (2) システム変更

##### ① OS

サーバを Windows NT 4.0 から Windows 2000 に変更。

データの安全性やセキュリティが強化されたが、管理に高度なスキルが必要になる。

ドメイン名「SSS\_HMH」(School Student System\_\_Miyazaki Higashi High)

(学校・生徒・システム\_\_宮崎東・高校の略称)

OU名「tushin」「yakan」「tyukan」「jimu」「jyouhou」で管理する予定であったが、延期。

##### ② 配線

赤外線無線 LAN によるトラブルが多発したので有線に変更

#### (3) 事務・定時と通信制が別々にCクラスIPアドレスを使っていたのを一元化する。

##### (1) Cクラスのスーパークラス化(またはBクラスのサブネット化)

255.255.254.0 (サブネットマスク) 変更

11111111.11111111.11111110.00000000

192.168.001.××× (事務・定時) 従来通り

192.168.000.××× (通信制) (30)を(00)に変更

##### (2) 通信制課程のIP区分(サブネット化)

10000000 (サブネットマスク)

192.168.0.001~015 (サーバ関連、開発マシン) サーバ室

0000××××

016~031 (分室クライアント) 教頭室・カウンセラー

0001××××

032~063 (共有クライアント) コンピュータコーナー

001×××××

064~127 (職員室個人優先) 個人机上

01××××××

##### (3) IPアドレスの変更

192.168.030.001 → 192.168.000.001 (Server、DNS・DHCP サーバ)

192.168.030.015 → 192.168.000.015 (ゲートウェイ:事務室ルータ)

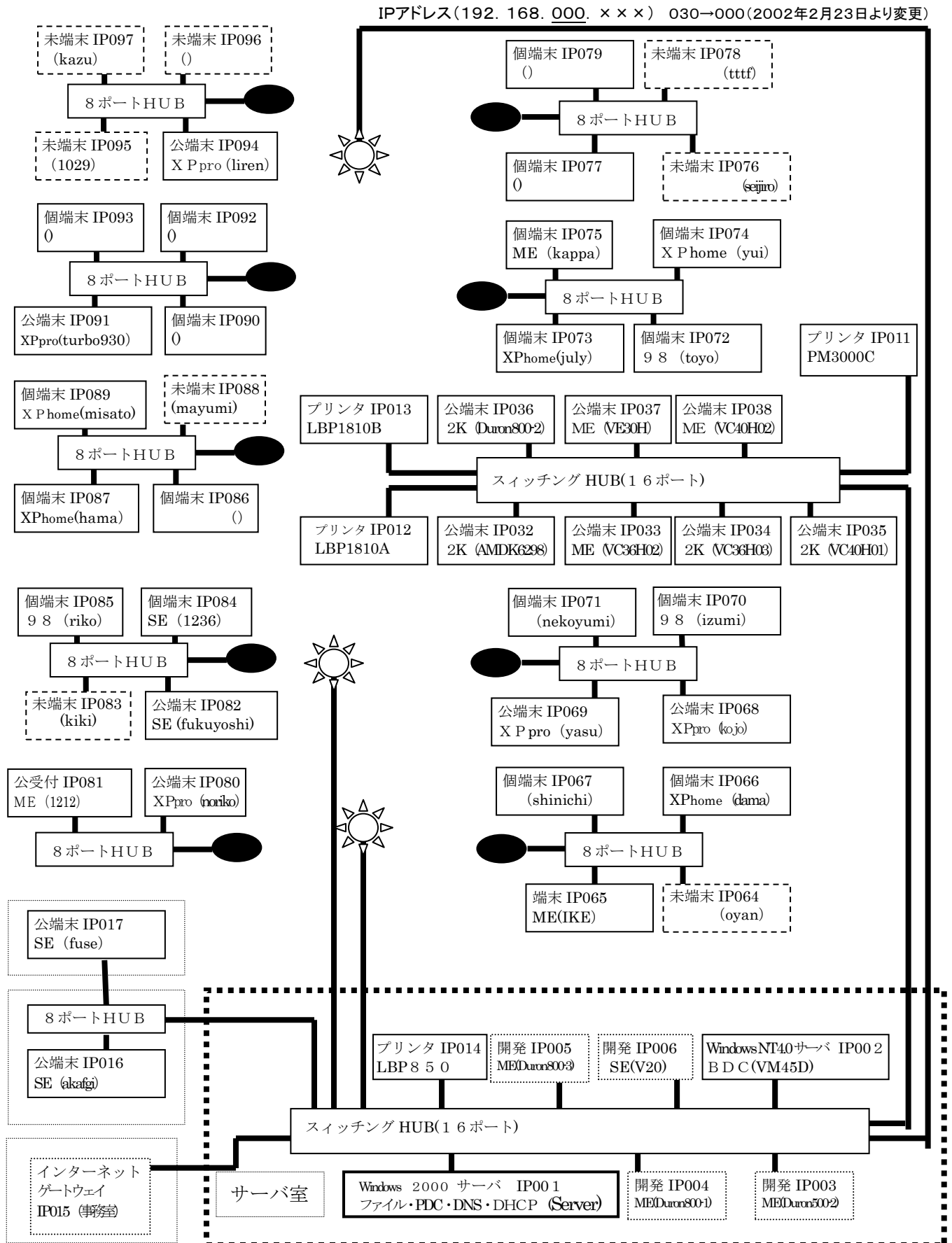
192.168.030.201 → 192.168.000.011 (プリントサーバ PS-PM3000C)

192.168.030.202 → 192.168.000.012 (プリントサーバ PS-LBP1810A)

192.168.030.203 → 192.168.000.013 (プリントサーバ PS-LBP1810B)

192.168.030.204 → 192.168.000.014 (プリントサーバ PS-LBP850)

2-4-5-2 LAN構成図



Mを継ぐ者へ

## **2-4-6 プロジェクト・M8(平成20年度)**

### **2-4-6-1 開発トリエス**

(1) 目的

前期後期の完全分離分割制に対応するように全システムを再構築

(2) 概要

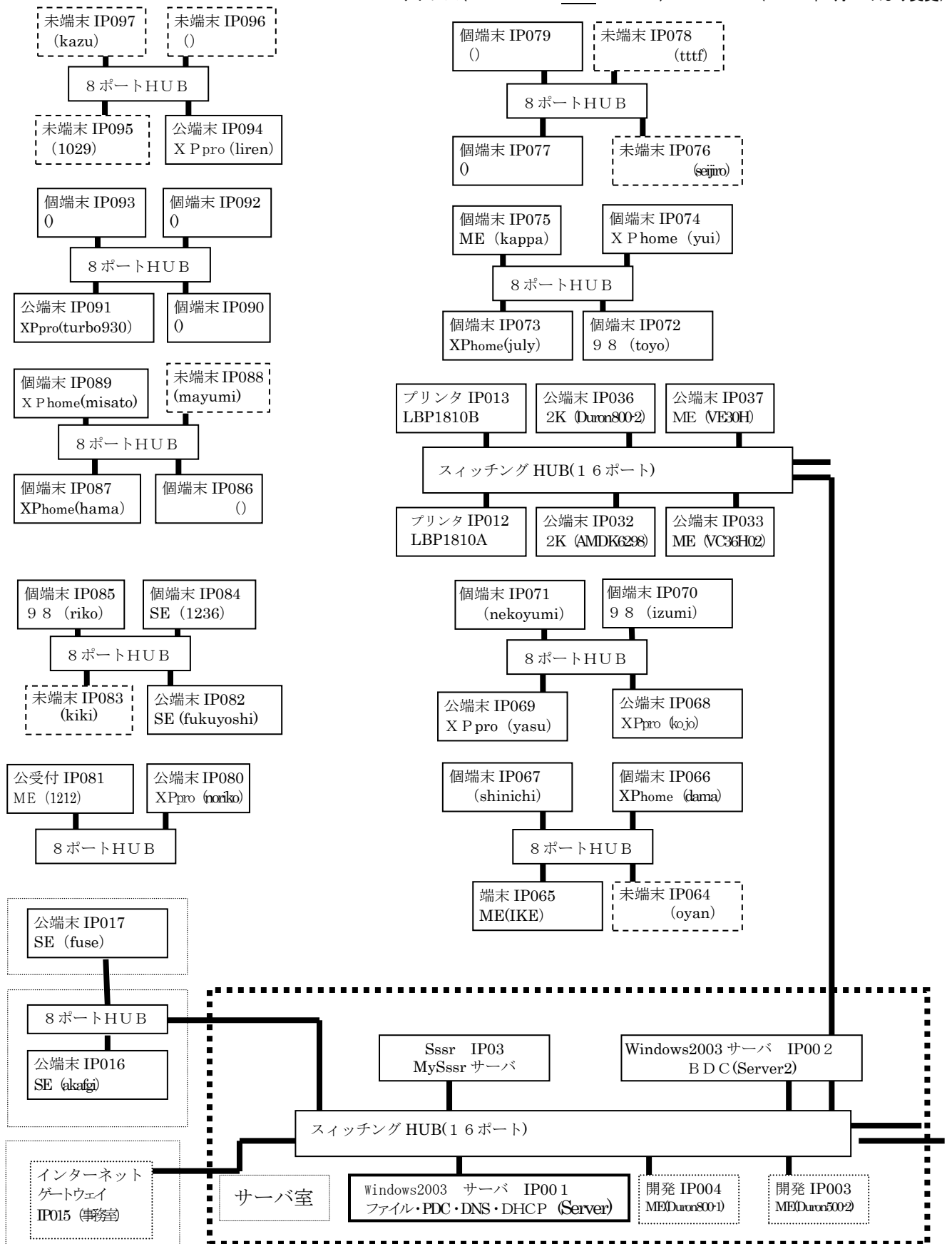
(3) 方針

前年度に同じ。



2-4-6-2 LAN構成図

IPアドレス(192.168.000.×××) 030→000(2002年2月23日より変更)



Mを継ぐ者へ

## 3 構築

### 3-1 概要

「インターネット」や「イントラネット」のしくみを理解することは必須といえます。この数年、社会的業務は、「インターネット」をインフラとした「イントラネット」へと移行していて、その中心軸となる「データベースサーバ」として「MySQL」が活用されています。

成績処理では、ファイル共有・同時アクセス・排他処理などの難問を解決しなくてはなりません。それらを問題としないのが「データベース」といえます。使ってみれば、すぐにその爽快さを体感できます。

#### 3-1-1 構築のための準備

| サーバ          | サービス内容  |
|--------------|---|
| Apache       | Web サーバ。<br>HTTP などのプロトコルを用いメッセージなどの送受信を行う。<br>Web の URL (DNS) の応答サービス  |
| Tomcat       | <u>Java</u> サブレット・ <u>JSP</u> を処理する <u>アプリケーションサーバ</u> 。<br>Tomcat は単独で <u>Web</u> サーバとして動作することも可能ですが、 <u>Apache</u> や <u>IIS</u> の <u>プラグイン</u> と動作できるようになっており、実際には <u>プラグイン</u> としての利用が主流です。  |
| Java         | 狭義では <u>オブジェクト指向プログラミング言語</u> Java で、広義では <u>プログラミング言語</u> Java の <u>プログラムの実行環境および開発環境</u> をいいます。   |
| <u>MySQL</u> | 無償で入手できる RDBMS(リレーショナルデータベース管理システム)です。<br>PostgreSQL と並ぶオープンソース RDBMS の代表格で、欧州で特に人気があります。最大の特徴は検索の高速性に重点を絞った設計になっていることで、商用 RDBMS に比べ、処理を遅くする機構を大幅に省いた反面、大量のデータを高速に検索することができます。UNIX 系各種 OS や Windows など多くのプラットフォームに対応しているのも利点です。   |
| <u>ODBC</u>  | Open DataBase Connectivity<br><u>Microsoft</u> 社によって提唱された、 <u>データベースにアクセスするためのソフトウェアの標準仕様</u> 。各データベースの違いは ODBC <u>ドライバ</u> によって吸収されるため、 <u>ユーザ</u> は ODBC に定められた手順に従って <u>プログラム</u> を書けば、 <u>接続先のデータベース</u> がどのような <u>データベース管理システム</u> に管理されているか意識することなく <u>アクセス</u> できるようになります。 |

## 3-2 環境の構築

以後のインストールファイルはサーバのフォルダ「App¥Java」にダウンロード済みです。

### 3-2-1 「Java」の設定

この設定は「Java」サーバを構築するためのものです。

- (1) 「JDK」(Java Development Kit)のインストールファイルをダウンロードし、実行する。

「jdk-6u17-windows-i586.exe」

インストーラファイルをダブルクリックしてインストールを実行

- (2) 環境変数「JAVA\_HOME」を新規作成

(例)「JAVA\_HOME」 = 「C:¥Program Files¥Java¥jdk1.6.0\_17」

- (3) 環境変数「Path」に「Java」のパスを追加する

「%JAVA\_HOME%¥bin」 (デリミッタ「」を付けること)

- (4) 環境変数「CLASSPATH」に以下を追記

「.%JAVA\_HOME%¥lib¥dt.jar %JAVA\_HOME%¥lib¥tools.jar」

### 3-2-2 開発統合環境「Eclipse」の設定

この設定は「Java プログラム開発のための統合環境」を提供するためのものです。

- (1) 「Eclipse3.5」(ガリレオ)のインストールファイルをダウンロード。

「eclipse-jee-galileo-win32.zip」

- (2) ZIP形式の圧縮ファイルを展開して「C:\work」フォルダに移動する
- (3) 日本語化ソフトウェアをダウンロードし、ZIP形式の圧縮ファイルを展開。

「pleiades.zip」

- (4) 「plugins」フォルダ内の全ファイルを「Eclipse」の「plugins」フォルダにコピー。
- (5) 「features」フォルダ内の全ファイルを「Eclipse」の「features」フォルダにコピー。
- (6) 環境設定ファイル「eclipse.ini」の末尾に、以下のプラグイン項目を追記する。

「-javaagent:plugins/jp.sourceforge.mergedoc.pleiades/pleiades.jar」

### 3-2-3 サーバサイドJavaを動かすための環境「Tomcat」の設定

この設定は「サーバサイドJavaを動かすための環境」を提供するためのものです。

- (1) サーバソフトインストールファイルをダウンロードし、実行。

「apache-tomcat-6.0.20.exe」

インストーラファイルをダブルクリックしてインストールを実行

### 3-2-4 データベースサーバ「MySql」環境の設定

この設定は「データベースサーバ」を提供するためのものです。

#### (1) 「Xampp」のインストールファイルをダウンロードし、実行。

「 xampp-win32-1.7.3.exe 」

これは、「Apache」と「MySQL」の設定をセットで行ってくれる便利なツールです。

文字化け対策として、システム全体の文字コードを「UTF-8」に統一する。

「MySQL」の環境設定ファイル「my.ini」の中を以下のように追加変更する。

C:\xampp\mysql\bin (フォルダ例)

[client]

default-character-set=utf8  
skip-character-set-client-handshake

[mysqld]

default-character-set = utf8  
skip-character-set-client-handshake  
character-set-server = utf8  
collation-server = utf8\_general\_ci  
init-connect = SET NAMES utf8

(2) ディスクトップ上の「Xampp Control Panel」をクリックして設定画面を表示する。

(3) 「MySQL」の「Start」ボタンをクリックして、起動する。

次の設定確認のために起動しておきます。

### 3-2-5 連携のための「ODBC」設定

この設定は「Excel」「access」「桐9」などと「MySQL」とを連携するためのものです。

#### (1) 「MyODBC」のインストールファイルをダウンロードし、実行。

「mysql-connector-odbc-5.1.6-win32.msi」

インストーラファイルをダブルクリックしてインストールを実行

#### (2) 「データ ソース (ODBC)」の設定

① 「コンピュータ管理」の「データ ソース (ODBC)」を開く。

「コントロールパネル→パフォーマンスとメンテナンス→管理ツール」で辿り着く

② 「システムD S N」タブをクリック。

③ 「追加」ボタンをクリックして、「MYSQL ODBC 5.1 Driver」を選択し、完了。

④ データソース (Data Source Name) 名を「MySQL5.1」(例) とする。

⑤ テストのために以下を入力する。

| 入力項目     | 入力値       | 通信制の場合       |
|----------|-----------|--------------|
| Server   | localhost | sssr         |
| User     | root      | 自分のトリエスID    |
| Password | なし        | 自分のトリエスパスワード |
| DataDase | test      | db_sssr      |

⑥ 「Test」ボタンをクリックして「MySQL」との接続テストを行う。

⑦ 「Conection Successful」のメッセージが表示されたら設定完了。

### 3-2-5-1 「Excel」との連携

- (1) 「ワークシート」でコネクト（接続）する場合
  - 「Excel2003」の場合
    - ① 「データ」メニュー「外部データの取り込み」の「データ取り込み」
    - ② 「新しいデータソースへの接続」を開いて、「ODBC DSN」を選択して次へ
    - ③ 「MySQL5.1」を選択する。
    - ④ 「データベース名」と「テーブル名」を指定する。
  - 「Excel2007」の場合
    - ① 「データ」メニューの「その他のデータソース」
    - ② 「データ接続ウィザード」を選択して、「ODBC DSN」を選択する。
    - ③ 「MySQL5.1」を選択する。
    - ④ 「データベース名」と「テーブル名」を指定する。
- (2) マクロでコネクトする場合  
「VBA」画面の「ツール」メニュー「参照設定」で以下の項目にチェックを入れる。  
「Microsoft ActivexX Data Objects ×.× Library」（「×.×は」最新版）

### 3-2-5-2 「桐9」との連携

- ① 外部DBタブを選択
- ② 新規作成でファイル名を入力
- ③ 外部データベースに接続メニューで「MySQL5.1」を選択し、「接続」ボタンをクリック
- ④ 「ユーザ名」とパスワードを入力。
- ⑤ 「結合対象表」で「表」にチェックを入れ、「表の名前」を選択する。  
MySQLが「UTF-8」なので全角文字があると読み込めない（2010年2月1日現在）

## 3-3 データベースの構築

### 3-3-1 設計の基本

- (1) 管理工学研究所の「日本語データベース桐9」で基本データを作成。
- (2) 桐テーブルのファイル名について  
MS-DOS形式「8.3方式を引き継ぐ」  
(長いファイル名はトラブルも元になる？また復旧も困難になる？)
- (3) MySQL テーブル名について  
PHPフレームワークのテーブル命名即では「\_」(アンダーバー)は特別な意味を持つので使えない。また、末尾に複数形の「s」を付けることになっている。



## 3-3-2 基本データのテーブル一覧

|    | 桐テーブル       | MySQL<br>テーブル名 | 概要                         |
|----|-------------|----------------|----------------------------|
| 1  | 構成学校        | schools        | 学校の構成要素(年度・学校名・校長名・始業日など)  |
| 2  | 構成学級        | cgroups        | 学級の構成要素(組コード・組名・担任など)      |
| 3  | 構成生徒        | students       | 生徒の構成要素(組・出席番号・氏名・学年など)    |
| 4  | 構成教科        | studies        | 教科の構成要素(教科名)               |
| 5  | 科目履修        | subjinfos      | 科目の履修要素(教科名・必修条件)          |
| 6  | 科目講座        | subjects       | 講座の科目要素(科目コード・開講名・レポート条件)  |
| 7  | 科目項目        | repoitems      | 実施科目のレポート項目                |
| 8  | 成績評定        | markranks      | 成績評定区分                     |
| 9  | 成績計算        | rankcalcs      | 計算項目の計算条件                  |
| 10 | 入学区分        | entrys         | 入学の区分(新入・転入・編入・併修・科目履修・転籍) |
| 11 | 行事区分        | plandivs       | 行事の区分                      |
| 12 | 行事類型        | schedules      | 行事の類型別日程                   |
| 13 | 行事追加        | schedadds      | 集中スクーリングなど、年度途中の特別追加行事     |
| 14 | 学期時期        | seasons        | 成績の時期区分                    |
| 15 | 校時生徒        | splans         | 生徒の履修科目要素                  |
| 16 | 科目組担        | subjmarks      | 科目・組別の担当者                  |
| 17 | 構成組団        | ocsets         | クラス区分(入学区分・協力校区分)          |
| 18 | 協力学校        | aways          | 協力校の区分要素                   |
| 19 | 面接日程        | lesnplans      | スクーリング計画要素                 |
| 20 | 面接補講        | laddplans      | スクーリングの特別補講                |
| 21 | レポ延期        | repodelays     | レポート提出期限の延期要素              |
| 22 | 分割履修        | subjhalfs      | 分割履修の状況(半期分離分割により不要)       |
| 23 | 分割認定        | subjallows     | 分割認定の状況(半期分離分割により不要)       |
| 24 | 科目不認        | subjdowns      | 科目の不認状況(学業停止申請による前倒し不認)    |
| 25 | 教書購有        | bookuses       | 教科書・学習書の購入有無               |
| 26 | 単位其他        | unitothers     | 転入・編入による他課程による取得単位         |
| 27 | 教書有改        | textbooks      | 教科書・学習書の有無および改訂状況          |
| 28 | 添削担任        | markers        | 添削担任の要素(氏名、ID、パスワード)       |
| 29 | 科目レポ        | subjrepos      | 科目履修者のレポート活動要素(提出・評価)      |
| 30 | 科目出面        | subjlesns      | 科目履修者のスクーリング活動要素(時数)       |
| 31 | 科目出他        | subjextras     | 科目履修者のスクーリング他活動(放送視聴など)    |
| 32 | 科単分有        | unit3vers      | 科目単位要素(前後期分割、取得単位のみ)       |
| 33 | 科単分割        | subjunits      | 科目単位要素(前後期分割、全科目)          |
| 34 | 科目レ旧.log    | logrepos       | レポート入力履歴                   |
| 35 | 科目出旧.log    | loglesns       | スクーリング入力履歴                 |
| 36 | 科出他旧.log    | logextras      | 放送視聴や特別補講入力履歴              |
| 37 | 科単分旧.log    | logu3vers      | 受講単位入力履歴                   |
| 38 | 教書購入.log    | logbooks       | 入力履歴                       |
| 39 | 記録注釈        | reporemarks    | 学習記録簿のコメント集                |
| 40 | Sss_Come    | repocomments   | コメントの管理                    |
| 41 | Sss_Bbs.rtf | bbsmessages    | トリエス掲示板のデータ集               |
| 42 | userinfo    | userinfos      | ユーザの構成要素                   |
| 43 | SssColor    | ssscolors      | トリエスの環境色設定要素               |
| 44 | SssAnime    | sssanimess     | トリエスの簡易アニメ設定要素             |
| 45 | END_MSG     | goodbymsgs     | トリエス終了時のメッセージ              |

## 3-3-3 基本テーブルの項目

| MySQL テーブル・フィールド |           | 桐テーブル名(項目名) | 内容                    |
|------------------|-----------|-------------|-----------------------|
| schools          |           | 構成学校        | 桐は各項目を行単位で格納          |
| year             | integer   |             | 西暦(桁)                 |
| era_name         | char(10)  |             | 元号                    |
| era_year         | integer   |             | 元号年                   |
| startweek        | char(4)   |             | 4月1日の曜日               |
| huf_day          | integer   |             | 後期開始日                 |
| end_day          | integer   |             | 後期最終日                 |
| txt_dir          | char(255) |             | ファイル出力ディレクトリ          |
| hours            | integer   |             | 1日の講座時間数              |
| min_hours        | integer   |             | 1年間の特別活動最低時間数         |
| max_subject      | integer   |             | 個人受講科目選択最大数(特活・出席を含む) |
| max_lesson       | integer   |             | 個人面接日数最大数             |
| img_dir          | char(255) |             | 生徒の顔プロフィールフォルダ        |
| schoolnam        | char(255) |             | 学校名                   |
| principal        | char(255) |             | 校長名                   |
| video_dir        | char(255) |             | ビデオライブラリフォルダ          |

|         |          |        |                         |
|---------|----------|--------|-------------------------|
| cgroups |          | 構成学級   |                         |
| cid     | char(6)  | [組]    | 半角英数4文字(整列ヘッダー「A~J」を付加) |
| cname   | char(10) | [組名]   | 全角3文字(都城A、1組A)          |
| tname   | char(22) | [担任氏名] | 全角7文字(名字3+空白+名前3)       |
| tid     | integer  | [番号]   |                         |

|           |          |          |                           |
|-----------|----------|----------|---------------------------|
| students  |          | 構成生徒     |                           |
| sid       | char(10) | [正規登録番号] | 半角8ケタ(元号年数3-入学区分入学連番4)    |
| sname     | char(22) | [氏名]     | 全角7文字(名字3+空白+名前3)         |
| ssex      | char(4)  | [性別]     | 男、女                       |
| cid       | char(6)  | [組]      | .DMIA~JHEF                |
| sno       | integer  | [出席番号]   | 組連番                       |
| grade     | integer  | [年次]     | 1、2、3、(4)                 |
| exdays    | integer  | [特活出席類型] | 5(半期)、10(1年間)、15、20、25、30 |
| oldentry  | integer  | [元課程入学]  |                           |
| unityears | integer  | [単位課程]   |                           |
| graduunit | integer  | [卒業単位]   | 74(以前は旧課程 80 と混在していた)     |
| movement  | char(8)  | [動態]     | 前卒、後卒                     |
| entryday  | integer  | [入学月日]   | 401、422、1001              |
| extra     | char(8)  | [特科生]    | 0(本科生)、1(科目履修・併修)         |
| existyear | integer  | [在籍期間]   |                           |
| age       | integer  | [年齢]     |                           |

|         |          |       |           |
|---------|----------|-------|-----------|
| studies |          | 構成教科  |           |
| name    | char(14) | [教科名] | 全角(最大4文字) |

| subjinfos |          | 科目履修     |           |
|-----------|----------|----------|-----------|
| pname     | char(16) | [教科名]    | 全角(最大4文字) |
| kname     | char(16) | [科目名]    | 全角(最大5文字) |
| unit      | integer  | [単位数]    |           |
| own1      | integer  | [必修]     |           |
| dbl       | integer  | [重複履修]   |           |
| opfg      | integer  | [開講]     |           |
| own2      | integer  | [必修フラッグ] |           |
| umin      | integer  | [認定最小単位] |           |

| subjects |          | 科目講座        |                        |
|----------|----------|-------------|------------------------|
| name     | char(16) | [科目]        | 全角(最大5文字)              |
| lna      | char(16) | [科目名]       | 全角(最大5文字)              |
| sna      | char(8)  | [科目短名]      | 全角(2文字)                |
| kid      | char(8)  | [科目コード]     | 半角大文字16進数3ケタ           |
| kopen    | integer  | [開講]        |                        |
| unit3    | integer  | [単位数]       |                        |
| unit1    | integer  | [前期単位]      |                        |
| lcnt3    | integer  | [面接時数]      |                        |
| loid     | integer  | [面接旧時数]     |                        |
| lcnt1    | integer  | [前期面接時数]    |                        |
| nrep3    | integer  | [レポート回数]    |                        |
| nrep1    | integer  | [前期レポ回数]    |                        |
| test     | char(8)  | [考查実施]      | テスト実施(全前後)             |
| mode     | integer  | [分割認定]      | 分割認定                   |
| uflg     | char(4)  | [必修加算値]     | 半角16進加算値(論理和の結果がFFで充足) |
| xufg     | char(4)  | [拡張必修条件]    | 旧課程必修条件加算値             |
| year     | integer  | [課程区分]      | 課程区分                   |
| repo_f1  | integer  | [前期第1回有効期日] | 17 前期提出有効日             |
| ~        |          | ~           |                        |
| repo_f6  | integer  | [前期第6回有効期日] |                        |
| repo_b1  | integer  | [後期第1回有効期日] | 後期提出有効日                |
| ~        |          | ~           |                        |
| repo_b6  | integer  | [後期第6回有効期日] |                        |
| xlesnfg  | char(4)  | [面接拡張科目コード] | 面接拡張科目コード(現在未使用)       |
| lim_f1   | integer  | [前期第1回提出期日] | 30 前期提出日               |
| ~        |          | ~           |                        |
| lim_f6   | integer  | [前期第6回提出期日] |                        |
| lim_b1   | integer  | [後期第1回提出期日] | 後期提出日                  |
| ~        |          | ~           |                        |
| lim_b6   | integer  | [後期第6回提出期日] |                        |
| test_fd  | integer  | [前期テスト日目]   | 42                     |
| test_fh  | integer  | [前期テスト時限]   |                        |
| test_bd  | integer  | [後期テスト日目]   |                        |
| test_bh  | integer  | [後期テスト時限]   |                        |
| rankokng | integer  | [評定可否]      | 評定が可否の科目は1(総合科目)       |
| rank_set | integer  | [評定セット]     | 複数科目で評定を決定する科目(体育)     |

## Mを継ぐ者へ

|           |          |           |                            |
|-----------|----------|-----------|----------------------------|
| idn2      | char(4)  | [読替コード]   | 48 新課程への読み替え対応科目コード        |
| repoitems |          |           |                            |
| 科目項目      |          |           |                            |
| iname     | char(16) | [項目]      |                            |
| markmax   | integer  | [評価]      |                            |
| semes     | integer  | [学期]      |                            |
| ranklink  | integer  | [連動評定項目]  |                            |
| isnam     | char(10) | [短名]      |                            |
| markadd   | integer  | [加算点]     |                            |
| markranks |          |           |                            |
| 成績評定      |          |           |                            |
| mark      | integer  | [評点]      | 評定 2~5 までの閾値 (30、45、60、85) |
| rankcalcs |          |           |                            |
| 成績計算      |          |           |                            |
| kname     | char(16) | [科目名]     | 科目名                        |
| tname     | char(22) | [添削者]     | 添削者                        |
| rankitem  | integer  | [評価項目]    | 評価項目                       |
| markitem0 | integer  | [項目番号 1]  | 計算項目評点 1                   |
| markmult0 | float    | [比重 1]    | 計算項目比重 1                   |
| ~         | ~        | ~         |                            |
| ~         | ~        | ~         |                            |
| markitem9 | integer  | [項目番号 10] |                            |
| markmult9 | float    | [比重 10]   |                            |
| entrys    |          |           |                            |
| 入学区分      |          |           |                            |
| entryname | char(12) | [入学区分]    |                            |
| plandivs  |          |           |                            |
| 行事区分      |          |           |                            |
| planid    | char(4)  | [行事ID]    |                            |
| planname  | char(16) | [面接区分]    |                            |
| schedules |          |           |                            |
| 行事類型      |          |           |                            |
| date      | integer  | [年月日]     |                            |
| week      | char(4)  | [曜日]      |                            |
| plan      | char(16) | [面接区分]    |                            |
| spar      | char(24) | [行事内容]    |                            |
| dnum      | integer  |           |                            |
| schedadds |          |           |                            |
| 行事追加      |          |           |                            |
| date      | integer  | [年月日]     |                            |
| week      | char(4)  | [曜日]      |                            |
| plan      | char(16) | [面接区分]    |                            |
| spar      | char(24) | [行事内容]    |                            |
| dnum      | integer  |           |                            |
| seasons   |          |           |                            |
| 学期時期      |          |           |                            |

|            |          |          |                           |
|------------|----------|----------|---------------------------|
| season     | integer  | [学期時期]   | 0(前期途中)1(前期面接終了)2(後期途中)34 |
| splans     |          |          |                           |
| cid        | char(6)  | [組]      |                           |
| sno        | integer  | [出席番号]   |                           |
| kname      | char(16) | [科目名]    |                           |
| again      | char     | [継続]     |                           |
| hourold    | integer  | [継続時間]   |                           |
| lesnall    | char(4)  | [受講期間]   |                           |
| marker     | char(22) |          |                           |
| subjmarks  |          |          |                           |
| cid        | char(6)  | [組]      |                           |
| kname      | char(16) | [科目名]    |                           |
| tname      | char(22) | [科目担任]   |                           |
| kid        | char(6)  |          |                           |
| ocsets     |          |          |                           |
| cs_id      | char(6)  | [クラスID]  | 協力校などのクラスセットID            |
| cs_name    | char(10) | [クラス名]   | クラスセットの全角文字クラス名           |
| regular    | integer  | [受講有]    |                           |
| aways      |          |          |                           |
| aw_id      | char(6)  | [学校記号]   |                           |
| aw_name    | char(10) | [学校名]    |                           |
| lesnplans  |          |          |                           |
| date       | integer  | [面接日]    |                           |
| hour       | integer  | [時限]     |                           |
| schoolid   | char(2)  | [面接校コード] |                           |
| kname      | char(16) | [科目名]    |                           |
| practis    | integer  | [実習]     |                           |
| tname      | char(22) | [担当講師]   |                           |
| dnum       | integer  |          |                           |
| laddplans  |          |          |                           |
| date       | integer  | [面接日]    |                           |
| hour       | integer  | [時限]     |                           |
| schoolid   | char(2)  | [面接校コード] |                           |
| kname      | char(16) | [科目名]    |                           |
| practis    | integer  | [実習]     |                           |
| teacher    | char(22) |          |                           |
| dnum       | integer  |          |                           |
| repodelays |          |          |                           |
| sid        | char(10) | [登録番号]   |                           |

Mを継ぐ者へ

|          |          |         |            |
|----------|----------|---------|------------|
| kid      | char(4)  | [科目コード] | 科目コード      |
| cid      | char(6)  | [組]     | 組コード       |
| sno      | integer  | [出席番号]  | 出席番号       |
| kname    | char(16) | [科目名]   | 科目名        |
| repoitem | integer  | [回]     | レポート回数     |
| limitday | integer  | [延期日]   | 延期日        |
| applyday | integer  | [申請日]   | 申請日        |
| skid     | char(16) |         | 登録番号&科目コード |

|           |          |         |                 |
|-----------|----------|---------|-----------------|
| subjhalfs |          | 分割履修    |                 |
| sid       | char(10) | [登録番号]  | 登録番号            |
| kid       | char(4)  | [科目コード] | 科目コード           |
| cid       | char(6)  | [組]     | 組コード            |
| sno       | integer  | [出席番号]  | 出席番号            |
| kname     | char(16) | [科目名]   | 科目名             |
| semester  | integer  | [履修分割]  | 履修時期(1 前期、2 後期) |

|            |          |         |                 |
|------------|----------|---------|-----------------|
| subjallows |          | 分割認定    |                 |
| sid        | char(10) | [登録番号]  | 登録番号            |
| kid        | char(4)  | [科目コード] | 科目コード           |
| cid        | char(6)  | [組]     | 組コード            |
| sno        | integer  | [出席番号]  | 出席番号            |
| kname      | char(16) | [科目名]   | 科目名             |
| semester   | integer  | [修得分割]  | 認定時期(1 前期、2 後期) |

|           |          |        |                  |
|-----------|----------|--------|------------------|
| subjdowns |          | 科目不認   |                  |
| cid       | char(6)  | [組]    | 組コード             |
| sno       | integer  | [出席番号] | 出席番号             |
| kname     | char(16) | [科目名]  | 科目名              |
| semester  | integer  | [状況]   | 不認定時期(1 前期、2 後期) |

|          |          |      |        |
|----------|----------|------|--------|
| bookuses |          | 教書購有 |        |
| sid      | char(10) |      | 登録番号   |
| kid      | char(4)  |      | 科目コード  |
| cid      | char(6)  |      | 組コード   |
| sno      | integer  |      | 出席番号   |
| kname    | char(16) |      | 科目名    |
| booktake | integer  |      | 購入1    |
| texttake | integer  |      | 購入1    |
| money    | integer  |      | 有償1無償0 |

|            |          |      |       |
|------------|----------|------|-------|
| unitothers |          | 単位其他 |       |
| sid        | char(10) |      | 登録番号  |
| mode       | char(40) |      | 種別    |
| prisubjna  | char(40) |      | 拡張教科名 |
| kname      | char(80) |      | 科目名   |

| unit         | integer  |          | 単位数    |
|--------------|----------|----------|--------|
| textbooks    |          | 教書有改     |        |
| name         | char(16) | [科目名]    |        |
| idno         | char(8)  | [科目コード]  |        |
| bookcode     | char(8)  | [教科書コード] |        |
| bookexist    | integer  | [教科書有無]  |        |
| textexist    | integer  | [学習書有無]  |        |
| bookchange   | integer  | [教科書改訂]  |        |
| textchange   | integer  | [学習書改訂]  |        |
| addtextid    | char(16) | [副教材コード] |        |
| markers      |          | 添削担任     |        |
| tname        | char(22) | [氏名]     |        |
| id           | char(32) | [ユーザ名]   |        |
| password     | char(32) |          |        |
| id2          | char(32) | [IBID]   |        |
| subjrepos    |          | 科目レポ     |        |
| sid          | char(10) |          | 登録番号   |
| kid          | char(4)  |          | 科目コード  |
| cid          | char(6)  |          | 組コード   |
| sno          | integer  |          | 出席番号   |
| kname        | char(16) |          | 科目名    |
| repo_rank_f1 |          |          |        |
| repo_date_f1 |          |          |        |
| ~            |          |          |        |
| ~            |          |          |        |
| repo_rank_f6 |          |          |        |
| repo_date_f6 |          |          |        |
| repo_rank_b1 |          |          |        |
| repo_date_b1 |          |          |        |
| ~            |          |          |        |
| ~            |          |          |        |
| repo_rank_b6 |          |          |        |
| repo_date_b6 |          |          |        |
| test_mark_f  | integer  |          | 前期考査評点 |
| test_date_f  | integer  |          | 受験日    |
| spar_mark_f  | integer  |          | 備考点    |
| spar_date_f  | integer  |          | 日(不要)  |
| mark_calc_f  | integer  |          | 評点     |
| mark_date_f  | integer  |          | 日(不要)  |
| rank_calc_f  | integer  |          | 評定     |
| rank_date_f  | integer  |          | 日(不要)  |
| test_mark_b  | integer  |          |        |
| test_date_b  | integer  |          |        |
| spar_mark_b  | integer  |          |        |

Mを継ぐ者へ

|                |          |  |            |
|----------------|----------|--|------------|
| spar_date_b    | integer  |  |            |
| mark_calc_b    | integer  |  |            |
| mark_date_b    | integer  |  |            |
| rank_calc_b    | integer  |  | 評定         |
| rank_date_b    | integer  |  | 日(不要)      |
| mark_efect_all | integer  |  |            |
| mark_date_all  | integer  |  |            |
| rank_efect_all | integer  |  |            |
| rank_date_all  | integer  |  |            |
| spare_mark_all | integer  |  |            |
| spare_date_all | integer  |  |            |
| rank_future    | integer  |  |            |
| date_future    | integer  |  |            |
| marker         | char(22) |  | 添削者名(追加)   |
| cname          | char(10) |  | 組名         |
| sname          | char(22) |  | 生徒氏名       |
| ssex           | char(4)  |  |            |
| skid           | char(16) |  | 登録番号&科目コード |

| subjlesns      |          | 科目出面 |            |
|----------------|----------|------|------------|
| sid            | char(10) |      | 登録番号       |
| kid            | char(4)  |      | 科目コード      |
| cid            | char(6)  |      | 組コード       |
| sno            | integer  |      | 出席番号       |
| kname          | char(16) |      | 科目名        |
| leson_hour_f1  |          |      |            |
| leson_date_f1  |          |      |            |
| ~              |          |      |            |
| ~              |          |      |            |
| leson_hour_f16 |          |      |            |
| leson_date_f16 |          |      |            |
| leson_hour_b1  |          |      |            |
| leson_date_b1  |          |      |            |
| ~              | ~        | ~    |            |
| ~              | ~        | ~    |            |
| leson_hour_b16 |          |      |            |
| leson_date_b16 |          |      |            |
| marker         | char(22) |      | クラス担任(追加)↓ |
| cname          | char(10) |      | 組名         |
| sname          | char(22) |      | 生徒氏名       |
| ssex           | char(4)  |      |            |
| skid           | char(16) |      | 登録番号&科目コード |

| subjextras |          | 科目出他 |       |
|------------|----------|------|-------|
| sid        | char(10) |      | 登録番号  |
| kid        | char(4)  |      | 科目コード |



|                |          |   |            |
|----------------|----------|---|------------|
| cid            | char(6)  |   | 組コード       |
| sno            | integer  |   | 出席番号       |
| kname          | char(16) |   | 科目名        |
| extra_hour_f1  |          |   |            |
| extra_date_f1  |          |   |            |
| extra_hour_f12 |          |   |            |
| extra_date_f12 |          |   |            |
| extra_hour_b1  |          |   |            |
| extra_date_b1  |          |   |            |
| ~              | ~        | ~ | ~          |
| ~              | ~        | ~ | ~          |
| extra_hour_b12 |          |   |            |
| extra_date_b12 |          |   |            |
| marker         | char(22) |   | 添削者名(追加)↓  |
| cname          | char(10) |   | 組名         |
| sname          | char(22) |   | 生徒氏名       |
| ssex           | char(4)  |   |            |
| skid           | char(16) |   | 登録番号&科目コード |

| unit3vers  |          | 科単分有 |       |
|------------|----------|------|-------|
| sid        | char(10) |      | 登録番号  |
| kid        | char(4)  |      | 科目コード |
| cid        | char(10) |      | 組コード  |
| sno        | integer  |      | 出席番号  |
| kname      | char(16) |      | 科目名   |
| u_mode     | integer  |      | 種別    |
| u_semester | integer  |      | 時期    |
| unit       | integer  |      | 単位数   |
| u_rank     | integer  |      | 評定    |
| a_rank     | integer  |      | 全期評定  |
| get_year   | integer  |      | 取得年   |

| subunits |          | 科単分割 |       |
|----------|----------|------|-------|
| sid      | char(10) |      | 登録番号  |
| kid      | char(4)  |      | 科目コード |
| cid      | char(10) |      | 組コード  |
| sno      | integer  |      | 出席番号  |
| kname    | char(16) |      | 科目名   |
| u_sel_f  | integer  |      | 選択番号前 |
| u_sel_b  | integer  |      | 選択番号後 |
| unext_f  | integer  |      | 受講前   |
| unext_b  | integer  |      | 受講後   |
| u_now_f  | integer  |      | 修得前   |
| u_now_b  | integer  |      | 修得後   |
| ulast_f  | integer  |      | 既得前   |
| ulast_b  | integer  |      | 既得後   |
| uwend_f  | integer  |      | 土日前   |

Mを継ぐ者へ

|          |          |  |            |
|----------|----------|--|------------|
| uwend_b  | integer  |  | 土日後        |
| u_ext1   | integer  |  | 高卒認定       |
| u_ext2   | integer  |  | 技能審査       |
| u_ext3   | integer  |  | 実務代替       |
| u_ext4_f | integer  |  | 持ち込み       |
| u_ext4_b | integer  |  | 持ち込み       |
| cname    | char(10) |  | 組名         |
| sname    | char(22) |  | 生徒氏名       |
| ssex     | char(4)  |  |            |
| skid     | char(16) |  | 登録番号&科目コード |

|          |          |          |         |
|----------|----------|----------|---------|
| logrepos |          | 科目レ旧.log |         |
| cid      | char(10) | [組]      | 組コード    |
| sno      | integer  | [出席番号]   | 出席番号    |
| kname    | char(16) | [科目名]    | 科目名     |
| repoitem | char(16) | [レポート回数] | レポート回数  |
| history  | char(32) | [変更内容]   | 変更内容    |
| date     | char(32) | [入力日時]   | 変更日時    |
| computer | char(32) | [入力場所]   | コンピュータ  |
| tid      | char(32) | [ID]     | 添削者ID   |
| bar      | integer  |          | バーコード入力 |

|          |          |          |        |
|----------|----------|----------|--------|
| loglesns |          | 科目出旧.log |        |
| cid      | char(10) | [組]      | 組コード   |
| sno      | integer  | [出席番号]   | 出席番号   |
| kname    | char(16) | [科目名]    | 科目名    |
| lesndate | char(16) |          | 面接日    |
| history  | char(32) |          | 変更内容   |
| date     | char(32) |          | 変更日時   |
| computer | char(32) |          | コンピュータ |
| tid      | char(32) |          | 添削者ID  |

|           |          |          |        |
|-----------|----------|----------|--------|
| logextras |          | 科出他旧.log |        |
| cid       | char(10) | [組]      | 組コード   |
| sno       | integer  | [出席番号]   | 出席番号   |
| kname     | char(16) | [科目名]    | 科目名    |
| items     | char(16) |          | 放送視聴回数 |
| history   | char(32) |          | 変更内容   |
| date      | char(32) |          | 変更日時   |
| computer  | char(32) |          | コンピュータ |
| tid       | char(32) |          | 添削者ID  |

|           |          |          |      |
|-----------|----------|----------|------|
| logu3vers |          | 科単分旧.log |      |
| cid       | char(10) | [組]      | 組コード |
| sno       | integer  | [出席番号]   | 出席番号 |
| kname     | char(16) | [科目名]    | 科目名  |

|          |          |  |        |
|----------|----------|--|--------|
| repoitem | char(16) |  | 種別     |
| semes    | char(32) |  | 時期     |
| history  | char(32) |  | 変更内容   |
| date     | char(32) |  | 変更日時   |
| computer | char(32) |  | コンピュータ |
| tid      | char(32) |  | 添削者ID  |

|          |          |          |        |
|----------|----------|----------|--------|
| logbooks |          | 教書購入.log |        |
| cid      | char(10) | [組]      | 組コード   |
| sno      | integer  | [出席番号]   | 出席番号   |
| kname    | char(16) | [科目名]    | 科目名    |
| booktext | char(16) |          | 教科書学習書 |
| history  | char(32) |          | 変更内容   |
| date     | char(32) |          | 変更日時   |
| computer | char(32) |          | コンピュータ |
| tid      | char(32) |          | 添削者ID  |

|             |          |      |      |
|-------------|----------|------|------|
| reporemarks |          | 記録注釈 |      |
| sid         | char(10) |      | 登録番号 |
| coment      | text)    |      | 注釈   |

|              |          |          |          |
|--------------|----------|----------|----------|
| repocomments |          | Sss_Come |          |
| comid        | char(6)  |          | コメントID   |
| titol        | char(80) |          | コメント題名   |
| maker        | char(16) |          | コメント作者ID |
| comment      | text     |          | 注釈       |

|             |          |             |         |
|-------------|----------|-------------|---------|
| bbsmessages |          | Sss_Bbs.rtf |         |
| comid       | char(6)  |             | メッセージID |
| titol       | char(80) |             | 題名      |
| writer      | char(22) |             | 書き込み者ID |
| date        | integer  |             | 書き込み日時  |
| message     | blob     |             | 内容      |

|           |          |          |  |
|-----------|----------|----------|--|
| userinfos |          | userinfo |  |
| userid    | char(40) |          |  |
| pcname    | char(40) |          |  |
| mode      | integer  |          |  |
| timeset   | integer  |          |  |
| userno    | integer  |          |  |
| logtime   | integer  |          |  |
| ggzoom    | integer  |          |  |
| password  | char(40) |          |  |
| bbstime   | integer  |          |  |

|           |  |          |  |
|-----------|--|----------|--|
| ssscolors |  | SssColor |  |
|-----------|--|----------|--|

Mを継ぐ者へ

|          |          |  |  |
|----------|----------|--|--|
| red      | integer  |  |  |
| green    | integer  |  |  |
| blue     | integer  |  |  |
| no       | integer  |  |  |
| remark   | char(80) |  |  |
| division | char(32) |  |  |

|           |           |          |           |
|-----------|-----------|----------|-----------|
| sssanimas |           | SssAnime |           |
| imgdot    | char(128) |          | 「wide」と兼用 |
| heit      | integer   |          |           |
| lft       | integer   |          |           |
| top       | integer   |          |           |
| rev       | integer   |          |           |
| mov       | integer   |          |           |
| rem       | char(128) |          |           |

|            |         |          |       |
|------------|---------|----------|-------|
| goodbymsgs |         | END_MESG |       |
| fsiz       | integer |          | 表示サイズ |
| format     | text    |          | メッセージ |

レポート・スクーリング・放送視聴の保存テーブルの変更（一覧表形式から単票形式へ）

| 52 | subjrep2divs | バイト     |    |   |                         |  |
|----|--------------|---------|----|---|-------------------------|--|
|    | 0 sidno      | bigint  | 20 | 8 | 登録番号の長整数化<br>科目コードの長整数化 |  |
|    | 1 kidno      | bigint  | 20 | 8 |                         |  |
|    | 2 item       | integer | 3  | 4 |                         |  |
|    | 3 rank       | integer | 3  | 4 |                         |  |
|    | 4 date       | integer | 3  | 4 |                         |  |
| 49 | subjlsn2divs |         |    |   |                         |  |
|    | 0 sidno      | bigint  | 20 | 8 |                         |  |
|    | 1 kidno      | bigint  | 20 | 8 |                         |  |
|    | 2 hour       | integer | 3  | 4 |                         |  |
|    | 3 date       | integer | 3  | 4 |                         |  |
|    | 4 semester   | integer | 3  | 4 |                         |  |
| 43 | subjext2divs |         |    |   |                         |  |
|    | 0 sidno      | bigint  | 20 | 8 |                         |  |
|    | 1 kidno      | bigint  | 20 | 8 |                         |  |
|    | 2 item       | integer | 3  | 4 |                         |  |
|    | 3 hour       | integer | 3  | 4 |                         |  |
|    | 4 date       | integer | 3  | 4 |                         |  |
|    | 5 semester   | integer | 3  | 4 |                         |  |
| 58 | unit2divs    |         |    |   |                         |  |
|    | 0 sidno      | bigint  | 20 | 8 |                         |  |
|    | 1 kidno      | bigint  | 20 | 8 |                         |  |
|    | 2 u_mode     | integer | 3  | 4 |                         |  |
|    | 3 u_semes    | integer | 3  | 4 |                         |  |
|    | 4 unit       | integer | 3  | 4 |                         |  |
|    | 5 u_rank     | integer | 3  | 4 |                         |  |
|    | 6 a_rank     | integer | 3  | 4 |                         |  |
|    | 7 get_year   | integer | 3  | 4 |                         |  |

## 4 活用

### 4-1 校内LAN「C言語」版

#### 4-1-1 基本操作

##### 4-1-1-1 起動アイコンの作成

- (1) サーバ上の「MySssr」フォルダを「ネットワークドライブ M:」に割り当てる。  
ドメインに所属するコンピュータは自動的に割り当てられるのでこの操作は不要。
  - ① マイネットワークのコンピュータ「Sssr」の下階層フォルダ「MySssr」を表示。  
うまく表示できないときは、「マイネットワーク」を開いた後に「アドレス」の欄に「¥¥sssr」と入力すると、目的のネットワーク全体が楽に速く表示できる。(裏技)
  - ② 「MySssr」フォルダの上で、右クリックして「ポップメニュー」を開く。
  - ③ 「ネットワークドライブの割り当て」で「M:」を選択する。

次に、

- (2) M: ドライブのファイル名「MySssr.exe」の上で、ポップメニューを開く。
- (3) メニュー項目「送る」の上に移動し、サブメニューを表示する。
- (4) 「デスクトップ (ショートカットを作成)」を選択する。
- (5) デスクトップに作成された「トリエス」のショートカットアイコンの上で、右クリックして、ポップメニューを開く。
- (6) 最下段から2番目項目の「名前の変更」を選択する。
- (7) 「学習記録 トリエス」(分かりやすい名前を、好みで適当に)を入力し、確定する。
- (8) 作成したアイコンをダブルクリックして、「マイトリエス」の起動を確認する。  
独自の 방법으로作成した場合などに、作成されたアイコンが「ショートカット」ではなく、トリエス本体になることがある。その場合は動かないので、削除してから作成し直す。

##### 4-1-1-2 ログイン

トリエス用のユーザ名「ID」(身元証明)と「パスワード」を入力して、「Enter」キーを押すか、「OK」ボタンをクリックする。

「ID」なしの「空らん」でもログインできるが、ゲストでのログインとなり、データの変更はできなくなる。

専用のコンピュータなど、連続して同じ「ID」でログインする場合は以前のログイン名が表示されているので、その「ID」部分をクリックだけで省力ログインできる。

ただし、これは「パスワード」が設定されていない場合に限る。

さらに、後述の「環境設定」起動パラメータ設定により、ETCのように「自動ログイン」することもできる。

#### 4-1-1-3 時計合わせ

ダウンメニュー「環境(E)」の「時計合わせ」を選択する。

コンピュータ・ワーク・グループで共同作業をしている場合に、自分の時計が遅れていると新規作成したデータでも過去のものとして破棄される場合がある。逆に、自分の時計が進んでいると、自分が保存した後に共同者が変更しても過去のデータとして破棄されてしまう。

「時計合わせ」は「ネチケット」(ネットワークエチケット)なので必ず守ること。

この操作はコンピュータの「管理者権限」がないと変更できない。変更できない場合は連絡を。

(OSが「Vista」または「Windows 7」の場合は以下の方法で起動する)

- 起動アイコンを右クリックし、ポップメニューを表示。
- 「管理者として実行する」を選択。

#### 4-1-1-4 入力画面の表示

マルチウィンドウになっているので、業務に応じて「ツールバー」に並んだ「レポート」や「スクリーニング」などの「ツールボタン」をクリックする。

#### 4-1-1-5 データの保存

右上の「保存」をクリックする。

データが変更された場合に、保存ボタンが赤色(アクティブ状態)に変わる。

変更内容は、ダウンメニュー「ヘルプ」の「未保存データ一覧」で確認できる。

#### 4-1-1-6 トリエスの終わり方

右上の「終了」ボタン、または、右上隅の「×」をクリックする。

## 4-1-2 レポート

ツールボタン 【 レポート 】 をクリックして、窓を開く。

レポート添削の評価や、前期と後期末に行われる考査の素点を入力する。また、評点・評定などの計算をする。

前期・後期成績としての評点や評定は自動計算機能が設定されているので、入力する必要はない。ただし、何らかの理由で手入力しなければならない場合は、自動計算機能を解除してから入力する。

### 4-1-2-1 選択と絞り込み

作業の単純化や効率化のためには「選択」または「絞り込み」が有効である。

講師、科目、クラスなどの条件で表示を限定するのを「選択」、ある特定の条件で表示を限定するのを「絞り込み」として区別している。以下、その選択、および絞り込みの方法である。

#### (1) 選択

- 講師選択

「講師選択」パネルをクリックし、講師名リストを表示。その中から講師を選択。または、「全講師」と表示された選択ウィンドウの右横にある「▽」をクリックする。さらにその右横の「▽」をクリックすると、講師名を国語科から順に、ローテーション式に選択できる。「△」の場合は、逆順となる。左横にある「解」ボタンをクリックすると選択は解除される。「講師選択」の右横のパネルにログイン者名が表示されているので、このパネル部分をクリックすると、ワンタッチでログイン者の個人選択ができる。

- 科目選択

「科目選択」パネルをクリックし、科目名リストを表示。その中から科目を選択。または、「全科目」と表示された選択ウィンドウの右横にある「▽」をクリックする。「▽」をクリックすると、自分の受け持ち科目がローテーション式に選択できる。「△」の場合は、逆順となる。「解」ボタンをクリックすると選択は解除される。

- 組名選択

「組選択」パネルをクリックし、組名リストを表示。その中からクラスを選択。または、「全クラス」と表示された選択ウィンドウの右横にある「▽」をクリックする。さらにその右横の「▽」をクリックすると、自分の受け持ち科目の組名がローテーション式に選択できる。「△」の場合は、逆順となる。左横にある「解」ボタンをクリックすると選択は解除される。

「組選択」パネルの右横パネルにログイン者の受け持ちクラス名が表示されるのでこのパネル部分をクリックするとワンタッチで自分のクラスが選択できる。

- 生徒選択

「生徒選択」パネルをクリックし、生徒名リストを表示、生徒を選択。または、「クラス全生徒」と表示された選択ウィンドウの右横にある「▽」をクリックする。「▽」をクリックすると、そのクラスの生徒がローテーション式に選択できる。「△」の場合は、逆順となる。左横にある「解」ボタンをクリックすると選択は解除される。この機能は組が選択されているときだけ「生徒選択」パネルが表示され、選択が有効となる。

#### (2) 絞り込み

対象者を絞り込んでおくと、効率良く、目移りすることなく、評価の入力ができる。ダ



ウンメニュー、または、ポップメニューポップメニューの「絞り込み」をクリックして、メニューの中の絞り込み項目を選択する。

絞り込みは8階層まで可能である。

- 解除  
絞り込みを1階層だけ解除する。  
ポップメニュー、またはダウンメニュー「絞り込み」の「解除」を選択する。絞り込みを全階層解除する場合は、ダウンメニュー「全解除」を選択する。
- 未保存者の絞り込み  
新しく入力、または変更したデータで保存されていないデータ行だけを表示する。保存ボタンを押しても、「保存」ボタンパネルが赤くなったままで、保存が完了しない場合があるが、そのようなトラブルの原因を究明するのに利用する。ダウンメニュー「Help(H)」の未保存データの一覧表」でも、より詳しく一覧表示される。
- 再履修者の絞り込み  
前年度に不認定になった科目のみを表示する。「継続」項目に「再」と表示されている。
- 未評価者  
レポート受付された者で評価が入力されていない者だけを表示する。  
この絞り込みをしていると、添削後の評価入力がスムーズに効率よくできる。カーソル位置の回の未評価者だけに絞り込みたい場合は、「未評価者（項目）」を選択する。全ての回の未評価者に絞り込みたい場合は、「未評価者（全回）」を選択する。
- 再提出者  
現在、レポートが再提出になっている者のみを表示する。  
これにより、クラス、または科目担任は誰が再提出になっているかを効率よく確認できる。
- 受付同日  
カーソル位置の受付日のレポートだけを表示する。絞り込みたい期日の上にカーソルを持っていき実行する。その回だけの場合は「受付同日（回）」を、全ての回の場合は、「受付同日（全）」を選択する。
- 評価以下  
指定した数値以下の評価だけを表示する。  
絞り込みたい項目の上にカーソルを置いて実行すると、入力窓が表示されるので、評価を入力する。これは特に、考査の素点、または評点、評定の絞り込みに利用する。30点未満を絞り込みたい場合は「29(Enter)」とする。

#### 4-1-2-2 レポート評価の入力

評価は通常、1～5の範囲で、キーボードから入力する。「ワンストローク入力」（省入力方式の一打入力）である。

入力後、カーソルは下の行へ自動的に移動する。

マウスで入力する場合は、上段2段目の数字ボタン列より選択クリックする。

再提出の場合は「0」を入力するか、「再」ボタンをクリックする。

#### 4-1-2-3 レポート受付日の入力

レポートに貼付されているバーコードより読み込まれるので入力は不要です。

ただし、提出されているのに「受付日」が入力されていない場合、原因を確認してから「係り」が入力する。

定期考査科目の場合は、バーコード入力により受付日と同時にスクーリングの科目受講も連動して記録されるのでスクーリング日の入力は不要である。

入力は、「4ストローク入力」（月の数字2ケタと日の数字2桁）である。

〔例〕 1221（12月21日）0115（1月15日）0503（5月3日）←503でもよい〔2月～9月は3ストロークも可〕。

#### 4-1-2-4 考査などの成績入力

後期第6回レポート項目に続く項目として、テスト、および、備考・予備（8個）項目が用意されている。

この項目には以下の要領で考査などの素点を入力する。

備考点の項目には評点および評定を補正するための点数を入力する。「項目A～項目H」も活用できる。

- (1) 点数は、0～100(満点)の範囲の数字である。
- (2) 点数入力は「2ストローク入力」です。以下が特徴となる。
  - 11～99以下の数字は2桁入力で、入力が確定されて次に進む。
  - 100点の場合は、「1」「0」「0」と3ストローク入力する。
  - 10点以下は数字入力後、Enterキー押し、入力値を確定する。
  - 10点または100点の場合は、以下のワンタッチ入力（ショートカットキー入力）も用意されている。
  - 10点の場合は、10点入力キーの「.」を押すか、「数字ボタン」の「10」キーをクリックする。
  - 100点の場合は、100点入力キーの「-」を押すか、「数字ボタン」の「100」キーをクリックする。
- (3) 成績不振で課題を提出した場合は、「課題提出」状態にする。  
ダウンメニュー「データ(D)」、または、ポップメニューの「再提出・課題」を選択。  
または、「ボタン列」の「再」をクリック。（こちらが簡単）

#### 4-1-2-5 データの変更と削除

データは保守性を考慮した結果として、いろいろな表示方法・操作を取り入れている。入力直後のデータは「黒色」で表示される。「青色」表示部分は「変更禁止」で、このままでは変更できない。すでにデータが保存され確定したということで、変更されないように保護されていることを示している。これはデータが「お手つき」で不用意に変更されないようにしているためである。ただし、あまりにも保守性を強調すると操作性の悪いシステムとなるので、多少リスクは伴うが、以下のような安易な方法も用意している。変更・削除には細心の注意を払う必要がある。

##### (1) 変更

まだ保存する前のデータであれば、そのまま上書きすると、変更される。読み出したデータまたは保存して確定したデータの場合は以下のいずれかで変更できる。

- ① ポップメニューの「強制変更(\*)」を選択。
- ② ダウンメニュー「データ(D)」を開き、「\*\*強制変更」を選択。  
(「データの削除」を実行してから再入力の方が分かり易いかもしれない。)

##### (2) 削除

まだ保存する前のデータであれば、 (スラッシュ) キーで削除できる。

読み出したデータまたは、保存して確定したデータの場合は以下のいずれかで削除できる。

- ①  キーを押すと変更可能となるので、さらに キーを押すと削除できる。
- ② ポップメニュー「強制削除(/)」を選択する。
- ③ ダウンメニュー「データ(D)」を開き、「\*/強制削除」を選択。

##### (3) 保存

赤く変色したボタンパネルをクリックすると同様に保存される。

「赤色」部分は「登録不可」で、登録されなかった部分。

これは、操作途中で他のコンピュータからの入力等ですでに変更箇所のデータが確定されたものとなったことを示している。

確率的には低いのですが、同じ箇所のデータを同時刻に別のコンピュータから入力されるというケースも考えられるので、そのような箇所があったら、まず、自分の入力領域なのか確認する。確認が済んだら、「変更」の操作を実行する。(「削除」だとデータが消えてしまう。)

本システムもハードやソフト的な点で、不安定な要素を持っている。

- ① 入力端末のコンピュータに無停電電源装置がなく、いつ停電でダウンするかもしれない。
  - ② ほとんどの端末コンピュータが「Windows」という不安定なOSを使っている。
- よって、多量のデータを入力する場合には適宜保存をすること。

## 4-1-2-6 評点・評定の計算

評点および評定の計算は手動計算と自動計算モードがある。初期値は「自動計算」モード。

自動計算モードでは、レポート評価や考査素点などを入力すると評点・評定が連動して計算される。これで都合が悪い場合などは、ダウンメニュー「環境(E)」の「評価自動解除(I)」で手動計算にすることができる。

以下の手順で計算式を設定する。

## (1) 科目名を選択。

このとき、講師名は解除しておく。特定の科目、または講師で設定する場合は講師名を設定するが、通常は科目全体で共通に計算式を設定する。

## (2) ダウンメニュー「データ(D)」の「科目評定計算」を選択。

## (3) 第1回から科目のレポート回数までと、前期・後期の考査の計算比重を入力する。

体育や芸術科目のように、一部もしくは全て考査項目がない部分は計算対象から除くので比重は設定しない。「備考点」の項目は通常、比重1に設定する。この項目だけは評価が入ってなくても計算してくれるが、他の項目は対象項目に空欄があると計算してくれない。これによって、全体的な入力不備のチェックをすることもできる。

(4)  (スペース)キーか、 キー、または、「ダブルクリック」で前行の比重値が入力される。(5) 評定式を変更すると、 ボタンが赤く変色し、アクティブ状態になる。赤くなった ボタンをクリックすると、評価式は登録され、ボタンも非アクティブ状態に戻る。(6)  ボタンで設定画面を閉じる。 ボタンをクリックすると、終了後に現選択生徒の科目評価が計算される。(7)  ボタンをクリックすると現科目の評定式が記憶される。他の科目(または、個人指定)の画面で、 ボタンをクリックすると、記憶された評価式が張り付けられる。

[設定例] 物理 I の前期 レポート (3割) 考査 (7割) 備考点(+α)

| 項目    | 満点  | 比重  | 計算点 | (累積) |                   |
|-------|-----|-----|-----|------|-------------------|
| 前期第1回 | 5   | 1   | 5   | 5    | (5点×1×6)<br>30点満点 |
| 前期第2回 | 5   | 1   | 5   | 10   |                   |
| 前期第3回 | 5   | 1   | 5   | 15   |                   |
| 前期第4回 | 5   | 1   | 5   | 20   |                   |
| 前期第5回 | 5   | 1   | 5   | 25   |                   |
| 前期第6回 | 5   | 1   | 5   | 30   |                   |
| 後期第1回 | 5   |     |     |      |                   |
| 後期第2回 | 5   |     |     |      |                   |
| 後期第3回 | 5   |     |     |      |                   |
| 後期第4回 | 5   |     |     |      |                   |
| 後期第5回 | 5   |     |     |      |                   |
| 後期第6回 | 5   |     |     |      |                   |
| 前期テスト | 100 | 0.7 | 70  | 100  |                   |
| 前期備考点 | 100 | 1   |     | 100  |                   |
| 前期評点  | 100 |     |     |      |                   |
| 前期評定  | 5   |     |     |      |                   |
| 後期テスト | 100 |     |     |      |                   |
| 後期備考点 | 100 |     |     |      |                   |
| 後期評点  | 100 |     |     |      |                   |
| 後期評定  | 5   |     |     |      |                   |
| 全期評点  | 100 |     |     |      |                   |
| 全期評定  | 5   |     |     |      |                   |

#### 4-1-2-7 レポート環境の補助機能

##### (1) レポート受付日の非表示

「形式」ボタンをクリックすると、評価・評点だけのスッキリした表示になる。  
統計処理をする場合には、レポート受付日の表示は不要なので、なるべく全項目が見渡せるように、受付日を非表示にする。スイッチ形式で、もう一度クリックすると元に戻る。

##### (2) 「受付日」ボタンで、月日表示の切り替え。

「受付日」ボタンをクリックすると、表示されているレポートの「受付日」が、「有効期限日」の表示に変わる。ボタン表示も「有効日」に変わる。  
さらに「ボタンをクリックすると、「提出日」の表示に変わり、ボタン表示も「提出日」に変わる。  
さらに「ボタンをクリックすると、元の「受付日」の表示に戻る。ボタン表示も「受付日」に戻る。

##### (3) 添削担任名の表示

「担当」ボタンをクリックすると、添削担当者の名前が表示される。  
スイッチ形式で、もう一度クリックすると非表示になる。

##### (4) 集計と度数分布の表示

ダウンメニュー「環境(E)」を開き、「集計&度数分布」を選択すると、上段に件数・総合計・平均点・最高点・最低点の集計行が表示される。  
もう一度同じ操作をすると、集計行の下に統計分布が表示される。  
さらにもう一度同じ操作をすると、集計・統計分布は消去され、元に戻る。

##### (5) プロファイルの表示

ポップメニューを開き、「プロファイル」を選択すると、カーソル位置の科目受験者のプロフィールを画面右上に表示する。表示される位置やサイズは自由に変更できる。  
カーソル位置の科目選択者が変わると自動的にプロフィールも変わる。  
入力作業を続けると手前のウィンドウに隠れて見えなくなるので、入力中も常に表示しておきたい場合は、マウスで画面右端をドラッグして画面のサイズを小さくする。

##### (6) 科目成績簿の印刷

- ① ダウンメニュー「印刷(P)」の「科目のレポート記録簿」を選択する。  
科目選択されていないと印刷メニューの項目は無効（非アクティブ）となっている。
- ② 1ページ目のイメージが表示されたら、「印刷」ボタンをクリックする。
- ③ 印刷ダイアログが表示されたら、プロパティをクリックして、用紙サイズを「A4」に、印刷の向きを「縦」に設定する。
- ④ 「OK」をクリックして、印刷を開始する。

#### 4-1-2-8 成績不振者の絞り込み

成績不振者で課題を出す必要のある生徒だけを絞り込みたい場合には、以下の手順になる。

- ① 考査項目の点数の上にカーソルを持っていく。
- ② ダウンメニュー、またはポップメニュー「絞り込み(C)」を開き、「評価以下(回)」を選択する。
- ③ 入力窓に、点数（20点未満の場合は「19」）を入力する。
- ④ 必要な場合は、

## Mを継ぐ者へ

- ・ ダウンメニュー「データ(D)」の「再提出・課題」を選択して、課題提出中に設定する。
- ・ ダウンメニュー「印刷(P)」の「前期（選択全行）印刷」で印刷する。
- ・ ダウンメニュー「ファイル(F)」の「科目単票テキスト書き出し（選択行）」を実行する。  
「M:¥TXT」フォルダに保存したファイルに、登録番号・氏名・組・番号が書き出されるので、他のアプリケーションで利用する。

### 4-1-3 《 スクーリング 》

ツールボタン【 スクーリング 】をクリックして、窓を開く。

「スクーリングカード」を参考に面接の時間数を入力する。

ウィンドウを開いたときの、最初のカーソル位置は最新のスクーリング日になっている。

#### 4-1-3-1 面接時数の入力

スクーリングの面接時数は、省入力方式のワンストローク入力です。

時間数をキーボードから入力する。マウスをダブルクリックすると、基本時間数が入力される。

基本時間数は、科目の場合「2」、特活は「1」となっている。

下段に表示されている数字パネルからも入力できる。

入力後、カーソルは下の行へ移動。

定期考査の場合は「0」（スクーリング時数は0時間で、「T」と表示）で、数字パネルの「テ」でも入力される。

ただし、定期考査の記録はバーコードから考査受験日が入力される際に連動して記録されるので、入力は不要です。

#### 4-1-4 《 放送視聴 》

ツールボタン【 放送視聴 】をクリックして、窓を開く。

放送視聴票を参考に、視聴時間を入力する。

##### 4-1-4-1 放送視聴時数の入力

左側に時間数、右側に受講日を次の要領で入力する。この項目には、特別テストの受付日も記録されている。

##### (1) テレビ視聴

1回分は30分の1/2時間で、これを「v」のキーで入力する。そのまま「v」の記号で表示される。下段に表示されている数字パネルの「Tv」でも入力できる。

##### (2) ラジオ視聴

テレビと同様です。

##### (3) 視聴日

月の数字2ケタと日の数字2桁の「3・4ストローク」で入力する。

〔例〕 503 (5月3日) 1221 (12月21日) 0115 (1月15日)

##### 4-1-4-2 NHK高校講座の視聴

ストリーミング配信の「NHK高校講座」を視聴する場合は、「優先 DNS サーバのアドレス」を確認ください。

あわせて、他の機能の「IPアドレス」も確認ください。

| 設定項目       | 機能           | IPアドレス/ポート番号              |
|------------|--------------|---------------------------|
| 優先 DNS サーバ |              | 211.9.101.33              |
|            | デフォルト ゲートウェイ | 192.168.0.15              |
|            | プロキシサーバ      | 192.168.1.54/ポート番号 : 8080 |

#### エクスペローラ

##### IPアドレスの設定方法

- 「マイネットワーク」アイコンの上で右クリックして、ポップメニューを開き、「プロパティ」を選択する。
- 「ローカルエリア接続」の上で右クリックして、ポップメニューを開き、「プロパティ」を選択する。
- 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックする。
- 「次のDNSサーバのアドレスを使う」にチェックを入れる。
- 「優先DNSサーバ (P)」の入力枠に「211 9 101 33」を設定する。
- 次に、「詳細設定」ボタンをクリックして、詳細設定画面に移動する。
- 「デフォルトゲートウェイ」の「追加」ボタンをクリック、「192 168 0 15」を設定し、「追加」ボタンをクリックする。
- 「OK」ボタンをクリックして、変更内容を更新する。



## 4-1-5 《 受講指導 》

ツールボタン【 受講指導 】をクリックして、窓を開く。

科目ごと、および履修・修得・既得など種別の単位が、単票形式で表示される。

今年度の履修・修得単位と前年度までの既得単位を参考に、来年度の受講単位を決定する。

自由に変更できるのは「選択」「受講」欄のみで他は「保護」されている。変更する場合はデータベース再構築を伴うので、管理者まで申し出てください。

## (4) 「選択」

複数科目からの択一選択は、虫食いの修得に対応できるように前期・後期それぞれ別に設定する。

選択択一科目のグループには同じ番号を割り振る。数値は適当に付けても構いませんが、「スペース」キー押下、または「ダブルクリック」で使われていない数字をインテリジェントに探してくれる。「選番×」ボタンの「×」部分の赤色数字が候補数字となる。(赤色は新たな番付を意味する)

数字を入力すると、緑色表示に変わり、その数字がその後も引き続き入力される。

次のグループに移る場合は「選番×」ボタンをクリックする。赤色に変わり、次の候補数字となる。

## (5) 「受講」

来年度の受講科目は前期・後期に分けて単位を入力する。前期・後期別の受講科目数「最大12」、単年度における単位数「最大28」という制限がある。

オーバーすると下段にその旨の警告メッセージが表示される。(不備が解消されるまで表示)

## (6) 「修得」

今年度の履修科目前期・後期の単位および修得状況です。

赤色「/」の斜線はレポートによる不認定。逆向きの細い方の斜線はスクーリングによる不認定を意味する。

以下の多彩な絞り込みで、受講指導の簡略化が計れる。

|       |  |
|-------|--|
| 前期不認  | 「前期不認定」のみを絞り込む。(この状態で受講指導すると楽)。<br>「修得・前」の項目で「個人受講単位コピー」した後、「受講・前」の項目で「貼付け」。(他のクラスに影響が及ばないように「絞り込み」に十分配慮する。) |
| レ否    | 「これ単体で絞り込んだ場合は「レポート」不認定のみの科目。  |
| ス否    | これ単体で絞り込んだ場合は「スクーリング」不認定のみの科目。   |
| テ否    | 「これ単体で絞り込んだ場合は「テスト未受験」不認定のみの科目。  |
| 後期不認  | 要領は前期と同様。  |
| 受講単位有 | 受講単位のある科目のみを絞り込む。  |
| 履修単有  | 履修単位のある科目のみ。   |
| 単位有   | その科目でどこかに単位のあるもの。  |
| 新課程単位 | 新課程の科目のみ。  |
| 個票    | 個票形式で表示。各科目の必修条件状況が、より詳細に把握できる。(保護)  |
| 既得    | 本校で、履修し、修得した単位。(保護)  |
| 土日    | 「土日の部」で修得した単位。(保護)   |
| 高認    | 高等学校卒業程度認定試験(旧大検)で合格・認定した単位。(保護)   |
| 技能    | 「技能審査」で合格・認定した単位。(保護)  |
| 実務    | 「実務代替」で合格・認定した単位。(保護)  |
| 持込    | 前在籍校で修得した単位。(保護)   |

#### 4-1-6 《 単位一覧 》

ツールボタンの【 単位一覧 】をクリックして、窓を開く。

一覧表形式で、受講単位や修得単位・既得単位などをいろいろな組み合わせで表示する。受講指導や、来年度の各面接校に置ける開講科目の確定に必要な資料を作成する。

#### 4-1-7 《 学習記録 》

ツールボタンの【 学習記録 】をクリックして、窓を開く。

「学習成績記録簿」「受講指導調査表」「単位個票」「個人面接計画表」などのイメージを表示し、必要に応じて印刷する。

学習記録簿イメージの左側にある「生徒名リスト」のカーソル位置を変更するとイメージも更新される。

「名簿」リストの印刷項目に「○」が1つもない場合は表示されているイメージのみを印刷する。

クラス単位で印刷したい場合は、「名簿リスト」の印刷項目で、「スペース」入力かダブルクリックし、「○」にする。

印刷個数が多い場合は、印刷しない者にだけ「○」を付け、上部の「反転」ボタンをクリックする。

##### 4-1-7-1 学習成績記録の印刷

印刷ボタンをクリックすると、印刷設定ダイアログが開くので、「OK」ボタンをクリックして印刷を開始する。

##### (1) 「学習の記録」の注釈文作成

個人の「注釈」項目を「ダブルクリック」すると、編集ウィンドウが開くので、個人ごとに注釈文を作成していく。

ただし、共通する部分（または全文）に「定型注釈文」を埋め込むことで作成が簡略化できる。

「カット&ペースト」でさらに簡略化が謀れる。「コピー（注釈：1項）」でコピーし、「貼付け（注釈：1項）」で1個人だけ、または「貼付け（注釈：縦全同）」で全ての生徒に同じ注釈文をコピーすることができる。

##### (2) 定型注釈文の作成

「定型注釈編集」ボタンをクリックすると、編集ウィンドウが開き、注釈文の表題がリスト表示される。

内容は編集ウィンドウに表示される。カーソル移動と連動して内容も更新される。

新規作成 「新規」ボタンをクリック。注釈文の「ID」「表題」を設定する。

再編集 「編集」ボタンをクリック、または目的の「表題」をダブルクリックする。

再編集できるのは「作成者」のみです。「作成者」以外の者が編集した場合は、同内容の新規注釈文となる。

以下の簡易「リッチテキスト機能」も備えているので、それなりに文章の体裁を整えることができる。

|       |   |
|-------|---|
| ¥M××× | 定型注釈文の挿入（自分自身を埋め込むと無限に展開されるので注意）<br>「×××」は3文字以内の英数字 |
| ¥d    | 今日の日付。  |
| ¥h    | 今の時間  |
| ¥n    | 改行  |
| ¥f××× | フォントサイズ。「×××」は3桁以内の数字                               |
| ¥l××× | 改行ピッチ（小文字のエル）。「×××」は3桁以内の数字                         |
| ¥b××× | 下ヘシフト。「×××」は3桁以内の数字                                 |
| ¥m××× | ¥m××× 左マージン（左端からのスペース）を設定。<br>「×××」は3桁以内の数字         |

#### 4-1-7-2 受講指導一覧表の印刷

「表簿選択」パネルをクリックして、「受講希望調査表」を選択する。要領および手順は「学習記録簿」と同じです。

#### 4-1-7-3 「個人面接計画表」の印刷

生徒個人のスクーリングの計画表がイメージ表示される。  
初期値として、面接校が「全てのスクーリング校」、面接日は「今日以降」になっている。  
必要に応じて、「面接校」の「チェックボタン」をクリックしてチェックを外す。また、面接開始日も変更する。

#### 4-1-8 《 レポ受付 》

ツールボタン【 レポ受付 】をクリックして、ウィンドウを開く。

レポート、および、テストの受け付けをバーコードの読み取りで行います。

レポートの表紙に印刷された科目識別バーコード部分にリーダーを当てる。これにより科目名が読み取られ、確認のための科目名が表示される。

バーコード部分は、科目を識別するためにコード化された科目番号とレポート回数をバーコード化したものです。

##### 4-1-8-1 レポート受付 :

- (1) バーコードの読み込み :  
バーコード2枚を読み取る。  
まず「科目」部分を読み込み、次に「登録番号」部分を読み込みます。
- (2) テストの受付  
登録番号情報と科目情報がセットになったバーコード1枚を読み取る。
- (3) 受付日の変更 :  
「月」数字2桁と「日」数字2桁のを合わせた4桁で入力する。  
〔例〕 1221 (12月21日) 0115 (1月15日)  
〔2月から9月までは3桁でもよい〕 503 (5月3日)
- (4) 適用  
「適用」ボタンをクリックすると、受付内容を更新する。「×」がついているものは無視される。  
レポート提出不備(前期未受講で前期提出、受付済みなど)の場合は、右端の「○」をクリックすると「×」に変わり、受付内容が無視される。
- (5) 保存  
「保存」ボタンをクリックすると、更新内容が保存される。

##### 4-1-8-2 受付エラーレポートの処理

- (1) 受付が拒否される理由を確かめる。
  - バーコード貼付不備(履修していない科目の提出など)
  - バーコードの読みとりエラー(汚れ、しわ、落書き、欠損など)
  - 科目バーコード印刷ミス(校正チェック漏れなど)
- (2) 「係り」が受付日をキーボードより入力する。

## 4-1-9 《 環境設定 》

### 4-1-9-1 トリエスの環境設定

「Windows」のアプリケーションでは、実行するプログラム名に続けてパラメータ（引数）を並べることにより、いろんな起動の方法が可能になる。

「プログラム+パラメータ」の文字列を「コマンドライン」といいます。

本システムも以下の引数を並べることにより快適な環境を構築することができる。

パラメータの区切りは、半角スペースです。半角スペースは「MS-DOS」(MicroSoft Disk Operating System) 時代からの区切り記号なので、ファイル名やフォルダ名で使っていると、トラブルの原因となる。

コマンドライン上のパラメータは「MS-DOS」方式で、半角の大文字・小文字は同じ文字として扱われる。見やすさや好みに合わせて大文字・小文字を混在させても構いません。

| パラメータ           | 設定内容                           |   |
|-----------------|--------------------------------|---|
|                 | [省略キーの1文字でも指定可] 省略キー↓          |   |
| C= (コンピュータ名)    | ユニークな(単一の)コンピュータ名を設定(XPでは不要)   |   |
| ID=(ユーザ名)       | ユーザ名を設定することにより自動ログインする         |   |
| PW= (パスワード)     | 自動ログインのために、パスワードを設定しておく        |   |
| T               | IDを設定していると、ログイン者を選択した状態まで実行    |   |
| C               | IDを設定していると、ログイン者担当クラスの選択状態まで実行 |   |
| DATE            | 時計合わせをする。                      | D |
| FOUT            | 全てのデータをファイル出力                  | F |
| OUIT            | トリエスを自動終了する。「FOUT」と併用する        | Q |
| SSS_COLOR=ファイル名 | トリエスの画面色を再設定                   |   |
| SSS_ANIME=ファイル名 | トリエスの簡易アニメを再設定                 |   |
| レポート            | 「レポート」窓が開かれる。(以下は、列記が可能)       | R |
| スクーリング          | 「スクーリング」窓が開かれる。                | S |
| 放送視聴            | 「放送視聴」窓が開かれる。                  | T |
| 受講単位            | 「受講単位」窓が開かれる。                  | U |
| 単位一覧            | 「単位一覧」窓が開かれる。                  | L |
| 学習記録            | 「学習記録」窓が開かれる。                  | P |
| レポ受付            | 「レポ受付」窓が開かれる。                  | B |

〔設定例1〕 V:¥Sssr.exe id=lkit レポート T (レポート評価入力用)

- ・ 「lkit」の部分は、自分のIDに変更
- ・ 「レポート」の部分は、自動的に「レポート画面」にしたい場合に記述。
- ・ 「T」を記述すれば、ログインした先生の科目のみが選択された状態になる。

〔設定例2〕 V:¥Sssr.exe id=lkit スクーリング C (スクーリング入力用)

- ・ スクーリング画面が開き、ID先生の受け持ちクラス選択状態になる。

#### 4-1-9-2 環境色の設定

トリエスの「環境色」は自由に変更できるように設定されている。

モノクロな日々の中、「春夏秋冬」それぞれをオリジナル・カラーで楽しみましょう。

- (1) ディスクトップ上の「学習記録SSSR」ショートカットアイコンの上で右クリックし、ポップメニューを表示。
- (2) 最下段項目の「プロパティ」を選択。
- (3) 「リンク先」の「V:¥Sssr.EXE」の後に半角スペースを追加、続けて、

「 SSS\_COLOR=D:¥Sssr¥myColor.txt 」を追加。(設定例)

SSS\_COLOR=」に続く「D:¥Sssr」はDドライブに作成したフォルダで、「myColor.txt」はファイル名です。

「MySQL データベース」の内容で自動設定された後に、指定したファイルの内容に変更される。

指定ファイルはメモ帳(notepad)などの「テキストエディタ」で作成する。

手っ取り早く作成したい場合は、M:ドライブの環境色設定ファイル「SssColor.txt」を自分のコンピュータ上の 適当なところ「D : ドライブ」などの指定しやすいフォルダ」にコピーする。そして、変更したい部分だけを残し編集する。

#### 4-1-10 データベースへの併合

学習記録業務は、おもに<SSSR>で行っているが、来期受講指導および、年度末成績処理など最終的な業務は<データベースソフト>で行っている。従って、<SSSR>で入力したデータを、データベースへ併合するためにいくつかのファイルにテキスト形式で書き出しをしている。データの区切りはコンマとタブが使われているが、<SSSR>では「コンマ区切り」(CSV)を採用している。

なお、書き出しフォルダは「M:¥TXT」としている。

##### 4-1-10-1 学習記録データのTXT書き出し

ダウンメニュー「ファイル(F)」の「更新データTXT書き出し(O)」を実行する。

書き出しファイル(.TXT)

| ファイル名 | 書き出し内容                                 |
|-------|--|
| 科目レポ  | レポートの各科目・回数ごと評価(テストを含む)・受付日            |
| 科目出面  | スクーリング出席した科目のみ書き出す。                    |
| 科目出席  | 行事日程順に、各科目・出校日毎の面接時数を書き出す。             |
| 科目出他  | 各科目の特別テストまたは放送視聴の時間数と受付日               |
| 科単分有  | 受講単位・選択番号・履修単位・既得単位・大検単位などを3つの形式で書き出す。 |
| 科単分割  | 半期ごとの単位あるものだけを書き出す。                    |
| 科目単位  | 全科目を前期・後期の別々書き出す。<br>旧形式の書き出し          |

##### 4-1-10-2 受験資格科目のTXT書き出し

ダウンメニュー「ファイル(F)」の「バーコード名簿出力(B)」を実行する。

名簿選択メニューが表示されるので、必要な項目にチェックを付け、「確定」をクリックする。

書き出しファイル(.TXT)

| ファイル名 | 書き出し内容             | 時期など          |
|-------|--------------------|---------------|
| バー前テ  | 前期テスト受験資格者および科目    | 前期テスト有効期限後に出力 |
| バー後レ  | 後期レポート添付用のバーコード    | (前システムで使用)    |
| バー後テ  | 後期テスト受験資格者および科目    | 後期テスト有効期限後に出力 |
| バ科目回  | レポート添付用の科目別回別バーコード | (前システムで使用)    |

##### 4-1-10-3 現選択生徒のTXT書き出し

ダウンメニュー「ファイル(F)」の「現選択生徒の書出(Z)」を実行する。

現在絞り込んでいる生徒・科目のみを、「選択生徒.txt」というファイル名で出力する。これをワープロやデータベースソフトで読み込んで加工する。

## 4-2 校内LAN「Excel」版

### 4-2-1 構築・管理

#### 4-2-1-1 テーブルの構築

- フォルダ「M:¥Excel」の中のファイル「MakeSssr.xls」を起動する。
- シート「表定義」で表を作成
- 「表定義」のボタンをクリックすると、以下の表に従ってテーブル名・フィールド名を作成してくれる。
- 「定義されたテーブルの一覧表示」ボタンをクリックすると、定義された内容を表示する。
- 「定義不一致」のボタンをクリックすると、正しく定義されなかったテーブルを表示する。

#### 4-2-1-2 基礎データの併合

- 基礎データは「桐9」で作成し、(フォルダ M:¥Sys¥systbl)
- テキスト書き出しする。(フォルダ M:¥Sys)。
- シート「表群」の「テキストから全テーブルへの変換 (○印のみ)」ボタンをクリックすると、書き出しされたテキスト内容がテーブルに併合される。

### 4-2-2 運用

#### 4-2-2-1 準備

- フォルダ「M:¥Excel」の中のファイル「MySssr.xls」を自分のコンピュータの適当な場所にコピーする。  
(例) D:ドライブにフォルダ「MySssr」を作成し、その中にコピーする。  
このファイルの「ショートカット」をデスクトップに作成する。
- 最新版が提供されたら、適宜置き換える。

#### 4-2-2-2 起動

- コピーしたファイルをダブルクリックする。
- シート「MySssr」が自動的に表示されるので、「ID」「パスワード」「ホスト名」を入力し、「OK」ボタンをクリックする。ホスト名は「Sssr」とする。
- 「レポート」「スクリーニング」などのボタンをクリックすると処理画面になる。



### 4-3 インターネット「Java」版

#### 4-3-1 Webブラウザの起動

URL 「 <http://sssr:8080/Sssr/main> 」

Mを継ぐ者へ

## 4-4 インターネット「PHP」版

### 4-4-1 Webブラウザの起動

URL 「 <http://ssr/www/> 」

## 5 運用

### 5-1 受講経費の手続き

#### 5-1-1 転編入

フォルダ「P:¥受講経費¥年度本年前期転編入」で作業（2010年4月現在）

- (1) 「経費生徒」テーブルの作成
  - (K:¥教務¥転編入)「転入受付」「編入受付」より「登録番号」「氏名」「性別」「入学区分」などの各データを読み込む。
- (2) 「受講台帳」テーブルの作成
  - 「受講結合」テーブルへ「経費生徒」データを読み込む
  - 「経費科目」テーブルへ受講科目データを読み込む（課程が変わらない限り不変）
  - 「受講台帳」テーブルへ「受講全科」（上記2つのテーブルの結合表）を読み込む
- (3) 受講単位のテキスト書き出し
  - 「MySssr」を起動して、ダウンメニュー「ファイル」の「復活／転入／編入の受講指導」の「転入」を選択する。
  - 「科単分割 形式のテキスト書き出し」を実行。
  - 終了・再起動して、同様に「編入」のテキスト書き出しを行う。
- (4) 受講台帳への単位併合
 

(マクロ) 一括処理プログラム「転編受講単位.cmd」を実行する  
(一括処理の内容)

  - (S:¥Uturn¥Tennyu¥tbl)「科単分割.tbl」へ (S:¥Uturn¥Tennyu¥txt)「科単分割.txt」を読み込む
  - (S:¥Uturn¥Hennyu¥tbl)「科単分割.tbl」へ (S:¥Uturn¥Hennyu¥txt)「科単分割.txt」を読み込む
  - 「受講台帳.tbl」へ上記2つのテーブルデータを併合する。
  - 受講単位があり教科書のある科目は教科書購入とする。
  - 体育は教科書がないが、副教材があるので教科書購入とする。
- (5) 経費処理
 

一括処理プログラム「一括更新.cmd」を実行する  
(一括処理の内容)

  - 「受講台帳」テーブルで各種の統計処理をして「経費生徒」テーブルへ併合する。
  - 教科書単一の処理をする（体育などは同一教科書を使用）。
  - 「地理B」受講の場合、地図は「教科書扱い」するのでその処理をする。
- (6) 経費納入書類の打ち出し
  - レポート2枚綴り（「納金通知」と「納金内訳」）の打ち出し。
  - レポート8枚綴りの打ち出し  
一括処理「連番打出（8枚セット）.cmd」を実行する。

## 5-1-2 科目履修・併修

フォルダ「P:¥受講経費¥年度本年科目履修&併修」で作業（2010年4月現在）

### (1) 「経費生徒」テーブルの作成

- 教務部の担当が「T:¥教務部¥併修¥22年度」フォルダで作業
- 各学校から提出されエクセル表「併修申請者一覧（各学校）.xls」を整形して「桐」テーブルにする。  
整形ポイント
  - ① テーブル統合化のために、1行目の項目名を全学校共通に整形する。
  - ② 氏名を全角7文字に整形。
  - ③ 氏名読みを「姓」と「名前」の間に全角スペースを挿入。
  - ④ 住所1と住所2を全角化して分離。
  - ⑤ 電話番号や郵便番号を半角文字列化
  - ⑥ 科目名を正規の科目名に訂正する。
- 「経費併修」に各学校のデータ（受講する3科目を含む）を統合し、基礎テーブルとする。
- 「経費併修」より「経費生徒」に必要データを読み込む。

### (2) 「受講台帳」テーブルの作成

- 「受講結合」テーブルへ「経費生徒」データを読み込む
- 「経費科目」テーブルへ受講科目データを読み込む（課程が変わらない限り不変）
- 「受講台帳」テーブルへ「受講全科」（上記2つのテーブルの結合表）を読み込む

### (3) 受講台帳への単位併合

（マクロ）一括処理プログラム「科目単位併合.cmd」を実行する  
（一括処理の内容）

- 「(経費併修.tbl) から「受講科目 1」「受講科目 2」「受講科目 3」の前期単位と後期単位をそれぞれ3回に分けて併合する。
- 受講単位があり教科書のある科目は教科書購入とする。
- 体育は教科書がないが、副教材があるので教科書購入とする。

### (4) 経費処理

一括処理プログラム「一括更新.cmd」を実行する  
（一括処理の内容）

- 「受講台帳」テーブルで各種の統計処理をして「経費生徒」テーブルへ併合する。
- 教科書単一の処理をする（体育などは同一教科書を使用）。
- 「地理B」受講の場合、地図は「教科書扱い」するのでその処理をする。

### (5) 経費納入書類の打ち出し

- レポート2枚綴り（「納金通知」と「納金内訳」）の打ち出し。
- レポート8枚綴りの打ち出し  
一括処理「連番打出（8枚セット）.cmd」を実行する。

## 6 (単位制・通信制) 県立宮崎東校等学校のコンピュータ業務

### 6-1 基本業務

#### 6-1-1 基礎データの照会

生徒の構成、継続情報（特活時間・出席日数）、科目単位（持込・修得・履修・来期受講）  
添削担当（クラス・科目・担当者）、スクーリング担当（面接校種別・科目・時限・担当者）

### 6-2 入力

#### 6-2-1 レポートの受付

- バーコードによる「提出レポート」情報の読み込み  
「生徒登録番号」と「科目名・回数」の2つのバーコードをセットで読み込む。
- バーコードによる「考査受験」情報の読み込み  
「生徒登録番号と科目名・考査種別」の2つの情報を1つにしたバーコードを読み込む。

#### 6-2-2 成績評価・活動の記録

- レポート添削評価および考査成績評点の入力  
各回のレポート評価を入力する。
- スクーリングの出席記録の入力  
各スクーリングにおける「科目スクーリング」「特別活動」の出席時間数を入力する。
- 放送視聴の出席記録の入力  
スクーリング代替であるテレビ放送やDVD視聴の出席記録を入力する。

#### 6-2-3 受講科目の記録

- 次年度受講科目・単位の入力  
来年度に受講する科目単位を入力する。

### 6-3 出力

- 単位一覧表（受講科目・単位、修得単位、継続特活時間・出席日数）
- 添削担任の「科目単票」、レポート添削評価の一覧表
- 生徒個人の「学習記録簿」
- 受講手続き・経費納入書類（桐 2009 レポート使用）

### 6-4 統合環境「S s s r」の提供業務

#### (1) 基本業務の提供

マルチウィンドウ形式で提供

「レポート」「スクーリング」「放送視聴」「単位一覧」「受講指導」「学習記録」「レポ受付」

#### (2) 受講手続き情報提供

桐システム「受講経費」への基礎データ渡し

#### (3) 掲示板の提供

掲示板ウィンドウ

#### (4) 生徒情報の詳細提供

検索、プロフィール表示

#### (5) 携帯サイトでの学業照会

レポート提出日、スクーリング・特活出席時数の一覧